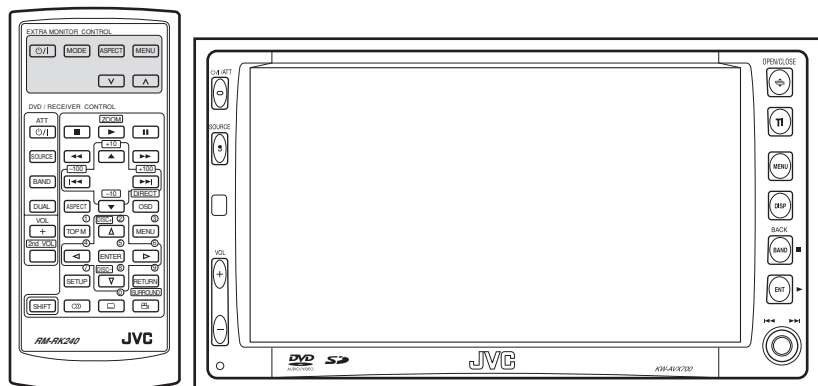


## 6.5型ワイドモニター/DVD/CDレシーバー

# 型名 KW-AVX700



### デモ表示について

本機にはデモ表示機能がついています。

20秒以上操作をしなないと、自動でデモ表示が始まります。

解除するときは、**MENU**ボタンを押してメニュー画面を表示し、「デモ」を「Off」にします。詳しくは12ページの「デモ表示をやめる/時計を合わせる」をご覧ください。

— お買い上げありがとうございます —

**!** ご使用の前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

# もくじ

	ページ		ページ
• 安全上のご注意 .....	3	• SDカードを再生する .....	36
• 使用上のご注意 .....	6	いろいろな再生モードを使う .....	37
ディスクの取り扱いについて .....	7	• CDチェンジャーのディスクを聞く ..	38
モニターの取り扱いについて .....	7	いろいろな再生モードを使う .....	39
• コントロールパネルの使いかた .....	8	• テレビを見る .....	40
各部の名前 .....	8	放送局をプリセットする .....	40
• リモコン(RM-RK240)の使いかた ...	10	放送局を呼び出す(プリセット選局) .....	41
使用上の注意 .....	10	主音声/副音声を切り換える .....	42
電池の入れかた .....	10	画面表示を切り換える .....	42
各部の名前 .....	10	• iPod <sup>®</sup> /D.PLAYERの音楽を聞く .....	43
• まず始めに .....	12	メニューからファイルを選ぶ .....	43
デモ表示をやめる/時計を合わせる ...	12	いろいろな再生モードを使う .....	44
• ラジオを聞く .....	14	• 他の機器の映像を見る/音声を聞く ...	45
FM放送が雑音で聞きにくいとき .....	14	「AV-IN」:LINE IN/VIDEO INに	
電波の強い放送局だけを受信する .....	15	つないだ機器の映像を見る .....	45
放送局をプリセットする .....	15	「EXT-IN」:チェンジャー端子に	
放送局を呼び出す(プリセット選局) .....	16	つないだ機器の音声を聞く .....	45
道路交通情報を聞く .....	17	• 音質を調節する .....	46
• ディスクの基礎知識 .....	18	• 放送局やディスクなどに名前を付ける ...	47
本機で再生できるディスク .....	18	• メニューでいろいろな設定をする .....	48
• ディスクを再生する .....	20	言語コード一覧表 .....	57
いろいろな再生モードを使う .....	23	プリセット放送局名(FM/AM)一覧表 .....	58
プレイリストを見ながら選ぶ .....	24	テキスト入力文字一覧表 .....	61
ディスクの盗難防止 .....	24	• 知っている便利なこと .....	62
リモコン(RM-RK240)で操作する ...	25	• 故障かな?と思う前に .....	66
映像をズームする .....	27	こんな表示が出たときは .....	70
ボーナスグループを再生する .....	27	• お手入れ .....	72
静止画像を選ぶ .....	27	ディスクのお手入れ .....	72
• サラウンドを楽しむ .....	28	本体の清掃 .....	72
サラウンドを「入/切」する .....	28	• 保証とアフターサービス .....	73
• メニューバーで操作する .....	30	• 主な仕様 .....	74
• 2つのソース(音源)を操作する .....	32		
デュアルゾーンを「入」にする .....	32		
外部モニターの操作画面を使う .....	33		
外部モニターのリスト画面を使う .....	35		

# 安全上のご注意

—はじめにお読みください—

## 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

## ● 絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



一般的指示



### 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



## 警告

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中にモニターなどの画面を見たり音量調節等の操作をしない。



このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



# 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

ディスク挿入口やSDカード挿入口に異物を入れない。



火災や感電・故障の原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

ディスク挿入口やSDカード挿入口に手や指を入れない。



けがの原因となることがあります。

電池をショートさせたり、分解や過熱をしたり、火や水の中に入れない。



電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

モニターパネルの開閉時、角度調節時に手や指をはさまれないよう注意する。



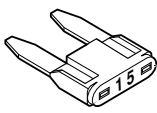
手をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



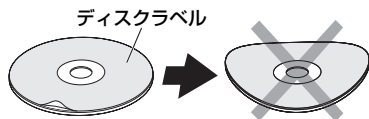
感電やけがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

- ・本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。
- ・スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω~8Ωのものをお使いください。  
スピーカーの最大入力が50W以下のときは、「アンプゲイン」を「最大音量 30」に設定してお使いください(⇒56ページ)。
- ・安全運転のために…
  - ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
  - ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
- ・車内の温度は…  
真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車したあとに、ディスクを使用するときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。(使用温度範囲:0℃~+40℃)
- ・表示窓について  
極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶モニターの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- ・必ず、パーキングブレーキコードを接続してお使いください。  
交通安全のため、走行中は映像が表示されず、音声のみとなります。また停止状態でもパーキングブレーキをかけないと、映像は表示されません。
  - ・パーキングブレーキコードが未接続のときは再生映像は表示されず、「Parking Brake」と表示されます。
- ・バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。
- ・結露(つゆつき)について  
次のような場合、本機のレンズなどが結露してディスクが正常に再生できないことがあります。
  - ・エアコン(暖房)を入れた直後
  - ・湿気が多いときこのようなときは、電源を入れたまま約1~2時間待ってからお使いください。
- ・海外での使用は…  
本機は日本国内用です。海外では使用できません。
- ・スピーカーコードの接続について  
本機はBTL<sup>※</sup>回路方式を採用しています。スピーカーの接続は必ず別紙の取付説明書の通りにしてください。既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードのマイナス⊖側が車の金属部に接続されていたり、マイナス⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。  
バランスド トランスフォーマーレス  
\* BTL: Balanced Transformerlessの略、2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる。
- ・ヒューズの交換について  
本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。  
 ヒューズ(15A)
- ・携帯電話を使用する場合は…  
携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、交通安全のため、運転中は携帯電話を使用しないでください。

## ディスクの取り扱いについて

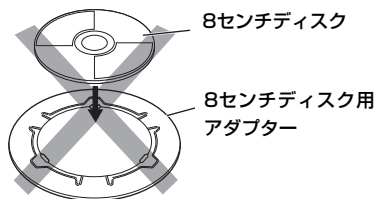
- **ディスクを保管するときは**  
専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できなくなることがあります。
- **記録型ディスクの取り扱いについて**  
DVD-RやCD-Rなどの記録型ディスクは、通常のDVDやCDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意してください。
- **記録面に保護シールなどを張ったり、ラベル面にディスクラベルなどを張ったりしないでください。**



ディスクラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って、音飛びしたり、再生停止などを起こしたり、ディスクが取り出せなくなったりなどの故障の原因となります。

- **次のようなディスクは使用しないでください。**  
本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反ったり傷がついたりすることがあります。
- 中古やレンタルのディスクなどでシールなどのノリがはみだしたり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの、またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの
- ラベル面に印刷できるインクジェットプリンター対応のディスク(印刷後のもの)
- レンタルディスクでシールが張ってあるもの(特にめくれているもの)

- ハートや花などの形をした特殊形状のディスクは、絶対に使用しないでください。円形以外のディスクを使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 長時間使用しないときは、必ず本機からディスクを取り出しておいてください。
- 8センチディスク用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチディスクは、そのまま挿入してください。



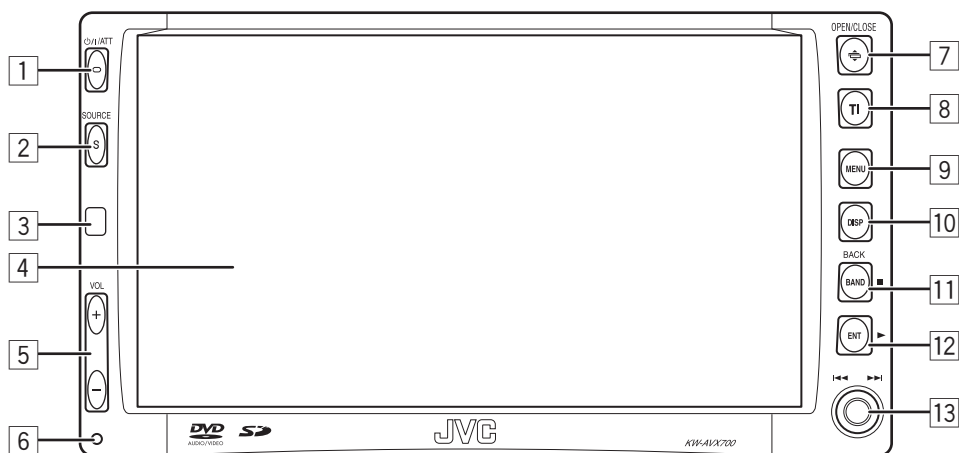
※ ディスクラベルや印刷可能ディスクに付いている「使用上の注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

## モニターの取り扱いについて

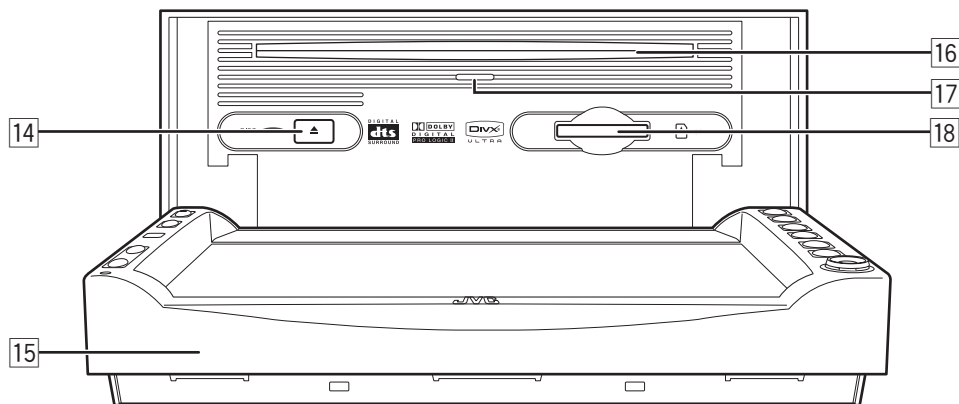
- **モニターに直射日光が当たらないようにしてください。**  
直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、モニターが故障する原因となります。
- **モニターの画面に小さな点ができることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。**
- **モニターの画面は直接手で触らないでください。**  
汚れや傷の原因となります。
- **モニターパネルの角度調節や開閉を手で操作しないでください。**  
モニターパネルに強い力が加わると故障の原因となります。
- **本体の前面など、モニターパネルの可動範囲にものを置かないでください。**

# コントロールパネルの使いかた

## 各部の名前



## モニターパネルを開いたとき



### お知らせ

- モニターパネルが開いているときは、VOL +/-、OPEN/CLOSE、▲(ディスク取り出し)以外のボタンは働きません。
- モニターパネルは開いたまま放置すると、自動的に閉まります。



**1** **⏻(電源)ボタン**

電源を「入/切」します。「切」にするときは1秒以上押します。

**ATT(アッテネーター)ボタン**

一時的に音量を下げます。もう一度押すと解除されます。

**2** **SOURCE(ソース)ボタン**

ソース(音源)を切り換えます。  
・電源「切」時は、電源が「入」になります。

**3** **リモコン受光部**

**4** **モニター画面**

**5** **VOL(ボリューム)+/-ボタン**

音量を調節します。

**6** **リセットボタン**

初めてお使いになる前に押します。また、本機のマイコンが誤動作したときなどに押します(時計の設定や放送局のメモリー内容などが消去されますのでご注意ください)。

**7** **OPEN/CLOSEボタン**

モニターパネルを開閉します。

**◀(アングル)ボタン**

押し続けるとモニターパネルの角度を調節できるようになります。そのあとで、くり返し押します(7段階で調節できます)。

**8** **TI(交通情報)ボタン**

交通情報(AM1620kHzまたはAM1629kHz)を聞くことができます。  
・電源「切」時は、電源が「入」になります。

**9** **MENU(メニュー)ボタン**

メインメニュー画面を表示します。  
・メインメニュー画面表示中にもう一度押すと、元の画面に戻ります。  
・サブメニュー画面中に押すと、メインメニュー画面に戻ります。

**10** **DISP(ディスプレイ)ボタン**

モニター画面の表示を切り換えます。

**11** **BAND(バンド)ボタン**

ソース(音源)がラジオ(FM/AM)のとき、バンドを切り換えます。

**BACK(バック)ボタン**

本機のメニュー操作中に、前の画面操作に戻ります。

**■(停止)ボタン**

ディスクやSDカードの再生を停止します。

**12** **ENT(決定)ボタン**

本機のメニュー操作中に、選んだ項目を決定するときに使います。

**▶(再生)ボタン**

ディスクやSDカードの再生を始めます。

**13** **十字キー**

上下、左右に倒して操作します。  
・ソース(音源)によって働きが異なります。  
・本機のメニュー操作時は、項目を選ぶときやメニュー間を移動するときに使います。

**14** **▲(ディスク取り出し)ボタン**

ディスクを取り出します。  
・ディスクが入っているときに、赤く点灯します。

**15** **モニターパネル**

**16** **ディスク挿入口**

**17** **ディスクローディングランプ**

・ディスクが入っていないときは、赤く点灯します。  
・ディスク挿入中や取り出し中は、赤く点滅します。  
・ディスクが入っているときは、消灯します。

**18** **SDカード挿入口**

# リモコン(RM-RK240)の使いかた

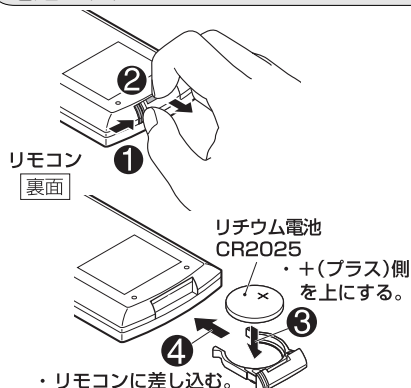
## 使用上の注意

- ・コントロールパネルのリモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- ・操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- ・受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また、受光部の前に障害物を置かないでください(動作しないことがあります)。
- ・リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR2025:市販品)と交換してください。

### ご注意

長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

## 電池の入れかた

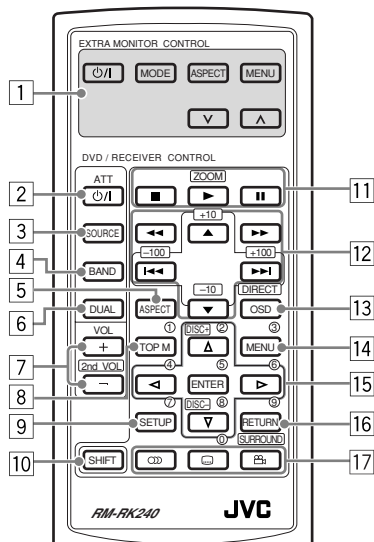


## 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

## 各部の名前



### 1 モニター操作ボタン

本機では使用しません。

- ・ピクチャー製のモニターKV-MH6510を操作できます。

### 2 ①/| (電源) ボタン

電源を「入/切」します。「切」にするときは1秒以上押します。

### ATT (アッテネーター) ボタン

一時的に音量を下げます。もう一度押すと解除されます。

### 3 SOURCE (ソース) ボタン

ソース(音源)を切り換えます。

### 4 BAND (バンド) ボタン

ラジオ放送のバンドを切り換えます。

**5 ASPECT(アスペクト)ボタン**  
再生映像の縦横比を切り換えます。

**6 DUAL(デュアル)ボタン**  
デュアルゾーンの設定を切り換えます。

**7 VOL(ボリューム)+/-ボタン**  
音量を調節します。

**2nd VOL(セカンドボリューム)+/-ボタン**  
SHIFTボタンを押しながら押すと、デュアルゾーン時の2nd AUDIO OUT端子からの出力音量を調節できます。

**8 TOP M(トップメニュー)ボタン\***  
・DVD/DivX6再生中に、ディスクメニュー画面を呼び出します。  
・PBC対応のビデオCDのとき、PBCを「入」にします。

**9 SETUP(セットアップ)ボタン\***  
本機では使用しません。

**10 SHIFT(シフト)ボタン**  
このボタンを押しながら☆印のついたボタンを押すと、数字ボタンとして働きます(⇒30ページ)。

**11 ディスク/SDカード基本操作ボタン**  
■(停止)ボタン/▶(再生)ボタン/  
■(一時停止)ボタン、ZOOM(ズーム)ボタン  
・SHIFTボタンを押しながら▶(再生)ボタンを押すと、ZOOMボタンとして働きます。

**12 応用操作ボタン**

▶▶、◀◀(サーチ)ボタン  
早送り、早戻しができます。  
・DVD/ビデオCDでは、一時停止中にスローモーション再生ができます(⇒25ページ)。

▲、▼ボタン\*  
ラジオ/テレビ操作時:プリセットしてある放送局を選びます。

ディスクやSDカード操作時:タイトル/グループ/フォルダを選びます。

▶▶、|、◀◀(スキップ)ボタン\*  
ラジオ/テレビ操作時:放送局を選びます。

ディスクやSDカード操作時:  
チャプター/トラックを選びます。

**13 OSD(オンスクリーンディスプレイ)ボタン**  
ディスク(CDチェンジャーを除く)操作時に、メニューバーを表示します。

**DIRECT(ダイレクト)ボタン**  
SHIFTボタンを押しながら押すと、タイトル/グループ/フォルダを数字ボタンで選べるようになります(⇒25ページ)。

**14 MENU(メニュー)ボタン\***  
・DVD/DivX6再生中に、ディスクメニュー画面を呼び出します。  
・PBC対応のビデオCDのとき、PBCを「入」にします。

**15 カーソル(▷/◁/△/▽)ボタン\*/  
ENTER(エンター)ボタン\***  
モニター画面上での選択、決定の操作に使用します。

**DISC(ディスク)+/-ボタン\***  
CDチェンジャーのディスクを切り換えます。

**16 RETURN(リターン)ボタン\***  
PBC対応のビデオCDのメニューを表示したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

**17 〇(オーディオ)ボタン/□(字幕)ボタン\*/  
⊠(アングル)ボタン**  
DVDなどのディスクの音声や、字幕、アングルを切り換えます。

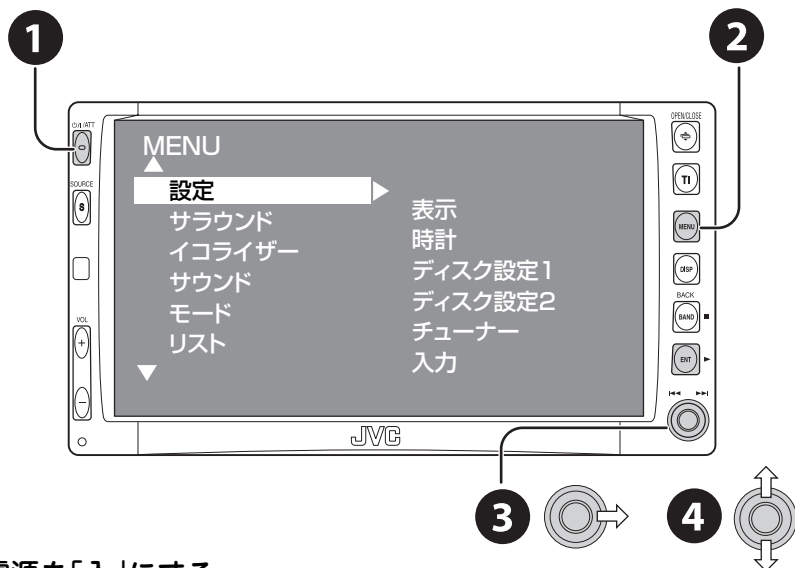
**SURROUND(サラウンド)ボタン**  
SHIFTボタンを押しながら押すと、サラウンドの設定が切り換えられます。

# まず始めに

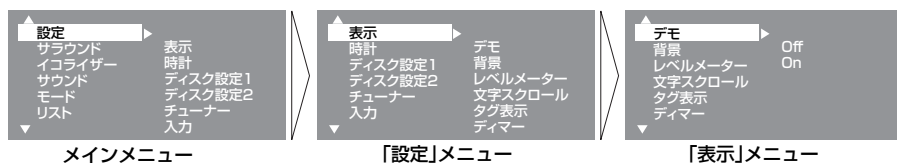
## デモ表示をやめる/時計を合わせる

初めてお使いのときは、デモ表示を中止して、時計を合わせてください。

- 各操作には時間制限があります。15秒以上の間隔を空けないで次の操作を行ってください。無操作状態が15秒以上続くと、元の画面に戻ります。
- 48ページの「メニューでいろいろな設定をする」を併せてご覧ください。

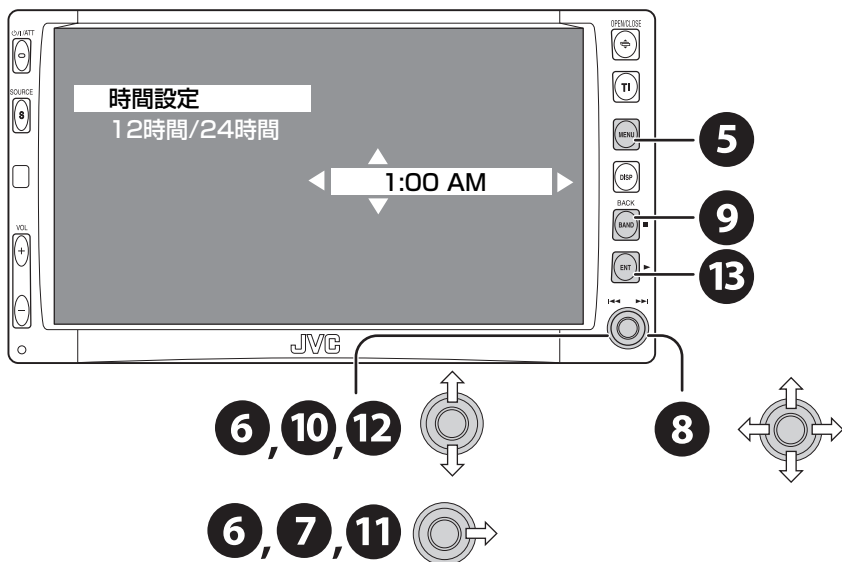


- 1 電源を「入」にする
- 2 「MENU」画面(メインメニュー)を表示する
- 3 「設定」⇒「表示」⇒「デモ」の順番に選び、「デモ」画面を表示する

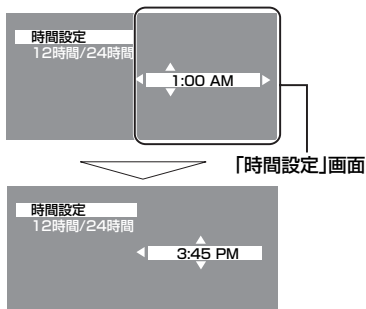


- 4 デモ表示をやめる  
「Off」を選びます。





- ⑤ 「MENU」画面(メインメニュー)に戻る
- ⑥ 「設定」⇒「時計」⇒「時間設定」の順に選ぶ
- ⑦ 「時間設定」画面を表示する
- ⑧ 時間を合わせる



- ⑨ 「時計」に戻る
- ⑩ 「12時間/24時間」を選ぶ

- ⑪ 「12時間/24時間」画面を表示する



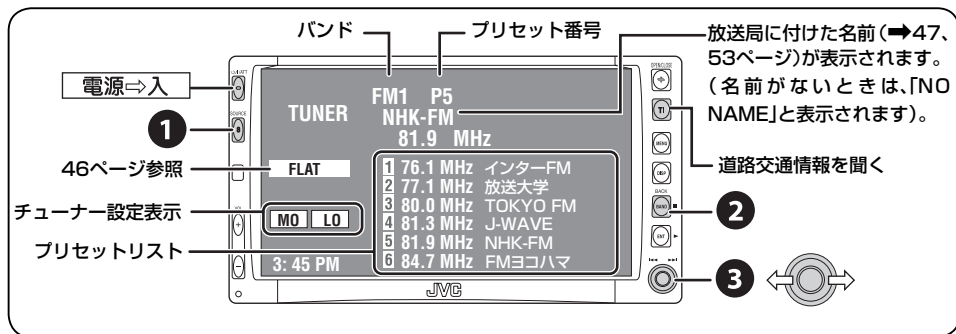
「12時間/24時間」画面

- ⑫ 「12時間表示」か「24時間表示」を選ぶ
- ⑬ 設定を終了する

### お知らせ

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時計を合わせ直すときも同じように操作します。

# ラジオを聞く



- ① 「TUNER」(FM/AM放送)を選ぶ
- ② バンドを切り換える(→FM1→FM2→AM1→AM2→)
- ③ 放送局を受信する(オート選局:Auto Search)

本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。ステレオ放送を受信すると、ST(ステレオ)表示が点灯します。

- ・マニュアル選局:「Manual Search」が点滅表示するまで、十字キーを右もしくは左に押す。その後、「ポン」「ポン」と押して選局する。FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

## FM放送が雑音で聞きにくいとき

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、受信モードを切り換えます。

- 1
- 2
- 3

- 4

「On」を選ぶと、モノラル受信となり、雑音が少なくなります。

- ・MO(モノラル)表示が点灯します。

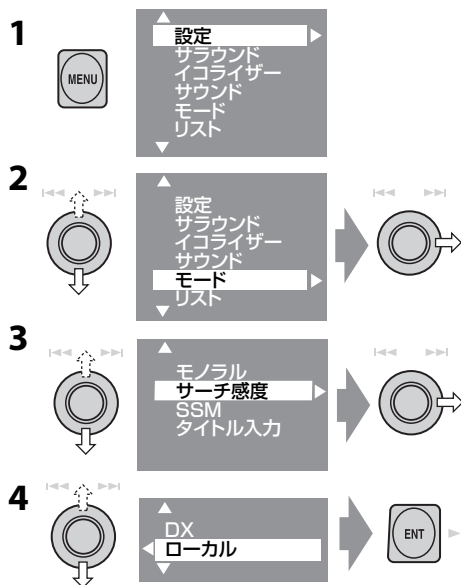
ステレオ放送で聞きたいときは、手順4で「Off」を選びます。

## お知らせ

- ・受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。このようなときは、受信状態の良い場所に移動してもう一度操作をしてください。
- ・マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- ・AM放送はモノラル受信です。

## 電波の強い放送局だけを受信する

FMステレオ放送選局時に、電波の強い放送局だけを受信することができます。



「ローカル」を選ぶ。

- DX(広域)表示が消え、LO(隣接)表示が点灯します。

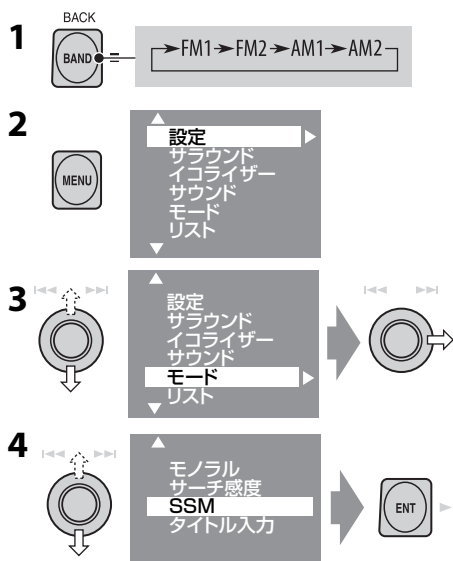
受信可能な電波の弱いFMステレオ放送局も受信したいときは、手順4で「DX」を選びます。

- LO表示が消え、DX表示が点灯します。

## 放送局をプリセットする

電波の強い放送局をバンドごとに最大6つまで自動選局し、記憶させることができます(SSM:ストロングステーションメモリー)。

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドに記憶してあった放送局は取り消されます。



周波数の低い順に放送局をプリセット番号「1～6」に記憶していきます。

- プリセットを終了すると、プリセット番号「1」に記憶された放送局が受信されます。

## お知らせ

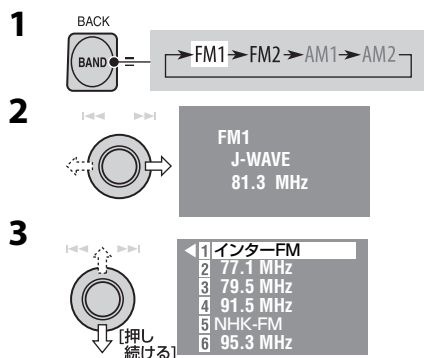
- 放送局が6局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまく記憶されることがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。

## 放送局を1局ずつ選んでプリセットする

よく聞く放送局を、プリセットできます。

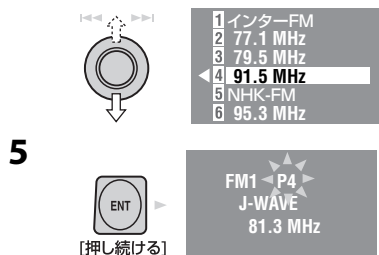
- ・リモコンではプリセットできません。
- ・あとからSSM機能を利用すると、記憶させた放送局が取り消されることがあります。

例: FM放送の81.3MHzをプリセット番号「4」に記憶させる



- ・放送局に名前が付けられているときは、リストには名前が表示されます。
- ・同じ動作をくり返すと、別のバンドにプリセットされた放送局のリストを表示できます。
- ・放送局のリストは、「メニュー」→「リスト」と選んで表示することもできます(⇒17ページ)。

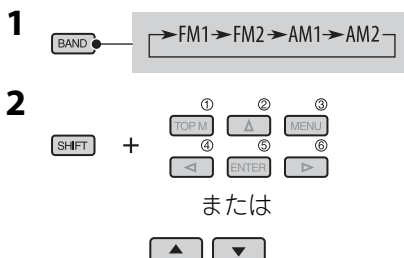
## 4 プリセットする番号を選ぶ



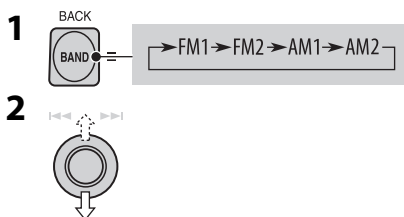
## 放送局を呼び出す(プリセット選局)

プリセットした放送局を呼び出します。

### 【リモコン】



### 【本体】



## お知らせ

バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、記憶した放送局は取り消されます。また、その他の設定も初期設定に戻り、時計表示も「1:00 AM」に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。



## 道路交通情報を聞く

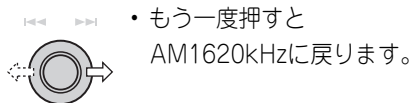
高速道路などの特定地域では、AM1620kHzまたはAM1629kHzで道路交通情報を聞くことができます。



ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信されます。

- ・電源「切」時は、電源が「入」になります。

## 2 AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは



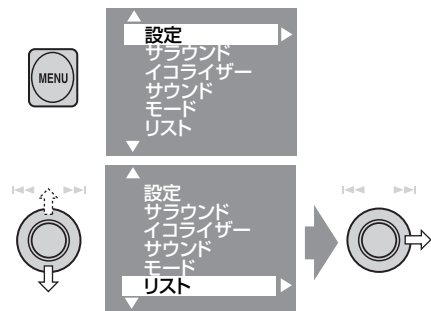
## 元のソース(音源)に戻すときは



### お知らせ

- ・本機では、放送局ごとに名前を登録することができます(⇒47、53ページ)。TIボタンを押して道路交通情報を聞いている状態では、AM1620kHzまたはAM1629kHzに登録した放送局名は表示されません。
- ・TIボタンを押して道路交通情報を聞いているときは、他のソース(音源)とは独立して音量調節ができますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。もう一度TIボタンを押して元のソース(音源)に戻すと、音量も元に戻ります。
- ・TIとは・・・  
トラフィック インフォメーション  
Traffic Information(交通情報)の略です。

- ・放送局のリストは、「メニュー」→「リスト」と選んで表示することもできます。



## アンテナリモートについて

電動アンテナ装備車およびアンテナプースター装備車の場合は、

**アンテナコントロール電源** コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)をラジオにすると自動的にアンテナ(プースター)側に電源が供給されます。「DISC」や「CD-CH」などの他のソース(音源)へ切り換えると、アンテナ側へは電源が供給されなくなります。

- ・**アンテナコントロール電源** コードの最大コントロール電流は250mAです。

# ディスクの基礎知識

## 本機で再生できるディスク

本機で再生できるディスクは、ディスク媒体の種類と記録方式/ファイル形式によって下の表のようになります。

ディスクの種類	記録方式/ファイル形式	再生 可/不可
DVD	DVDビデオ	✓OK(可)
	DVDオーディオ	
	DVD-ROM	✗NO(不可)
DVD-R*1、DVD-RW、+R、+RW*2 • UDFブリッジフォーマットに準拠 • DVD-RAMは再生できません	DVDビデオ	✓OK(可)
	DivX、MPEG1、MPEG2	
	JPEG	
	MP3、WMA、WAV	✗NO(不可)
	MPEG4	
	DVD-VR、+VR	
デュアルディスク	DVD面	✓OK(可)
	CD面	✗NO(不可)
CD ビデオCD	CD、CDテキスト (CD規格:CD-DAに準拠)	✓OK(可)
	DTS-CD	
	ビデオCD(VCD)	
	スーパービデオCD(SVCD)	✗NO(不可)
	CD-ROM	
	CD-I	
CD-R、CD-RW • ISO 9660レベル1/2、Romeo、Joliet、Windows拡張フォーマットに準拠	CD、CDテキスト (CD規格:CD-DAに準拠)	✓OK(可)
	DivX、MPEG1、MPEG2	
	JPEG	
	MP3、WMA、WAV	✗NO(不可)
	MPEG4	

\*1 マルチボーダー方式で記録されたDVD-Rも再生できます(デュアルレイヤーディスクを除く)。

\*2 DVDビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされた+R/+RWディスクが再生できます。+R DL(ダブルレイヤー)ディスクのご使用は推奨いたしません。

## ・ リージョン番号について

DVDビデオとDVDプレーヤーにはリージョン番号と呼ばれる、再生可能地域番号があります(ローカル番号とも呼ばれます)。本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号「2」のディスクを再生できます。



## CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを再生すると、アルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

- 日本語表示(漢字、ひらがな、カタカナ)にも対応しています。

## お知らせ

- 再生できないディスクを誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。CDグラフィックス、CDエキストラの場合、音声のみ再生できます。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠していない音楽ディスクについては、動作や音質を保証できません。音楽ディスクを再生するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠する音楽ディスクであることをお確かめください。
- 本機は、マクロピジョン方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号の入っているDVDビデオはビデオデッキなどで録画できません。

## ・ テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC方式エヌティーエスに適合しています。NTSC方式以外のテレビ方式パル(PAL方式)のディスクは、NTSC方式に変換して再生します。

## 記録型ディスクについて

お客様が編集した記録型ディスク(DVD-R/-RWやCD-R/RWなど)は、ファイナライズ処理がされているディスクに限りお楽しみいただけます。

- 記録型ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの「使用上の注意」をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。また、再生が始まるまで時間がかかる場合があります。
- 記録型ディスクは高温多湿な環境に弱いので、車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できなくなることがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/RWは、テキスト内容により再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- 本機は日本語表示(漢字、ひらがな、カタカナ)にも対応しています。本機から入力できる日本語はカタカナのみです(⇒61ページ)。
- CD-R/RWに記録されたCDテキストは、お客様の使用環境(PCやディスクドライブ、ライティングソフト)によっては正しく表示されないことがあります。
- フォルダやファイルの再生順序はライティングソフトによって記録型ディスクに書き込まれた順序になります。一般的にフォルダ/ファイルのはじめの文字の名前順(数字、アルファベット順、あいうえお順など)に書き込まれます。パソコン上のフォルダ/ファイルの順と異なることがあります(⇒62ページ)。

# ディスクを再生する

## ディスクを再生する前に

- DVDビデオの音声や字幕などは、「ディスク設定1」メニューであらかじめ設定しておくことができます(➡51ページ)。
- 音楽、動画、静止画などのファイルが同じディスクに収録されているときは、あらかじめ再生するファイルの種類を選んでおきます(➡51ページ)。
- DVDビデオおよびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに動作しないことがあります。  
このようなときは、モニター画面に「⊘」が表示されますが、表示されないときもありますのでご注意ください。

文字の印刷されている面を上

ディスクを取り出すには

モニターパネルを開閉するには

OPEN/CLOSE

**ご注意**

モニターパネルの開閉時に、指をパネル背面と本体部の間に挟まないようご注意ください。


DISP: 再生映像が映らずに、ソース(音源)の情報画面(➡21ページ)が表示される時押し。

▶:再生を始める  
通常はディスクを挿入すると、再生が始まります。  
(ちょっと見バック: DVD再生時に押しと、約10秒前から再生し直すことができます。)

■: 停止する

JVC

本機はDVDビデオやDVDオーディオなどのマルチチャンネル音声やドルビープロロジックIIなどのサラウンドをお楽しみいただけます(➡28ページ)。

映像が表示されているときは、 を押す。

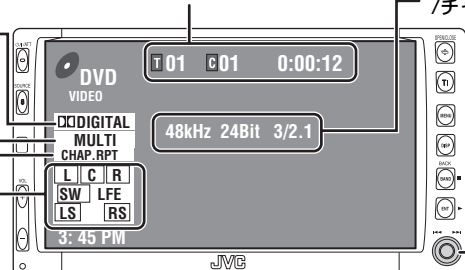
・ 押すごとに、再生映像とソース(音源)情報画面(レベルメーター表示あり/なし)が順に切り換わります。

**DVD**  
ビデオ

音声方式  
サラウンド/サウンドモード  
再生モード  
スピーカー/音声信号表示 (→22ページ)

タイトル番号/チャプター番号/再生時間

サンプリング周波数/量子化ビット数/チャンネル(収録)数



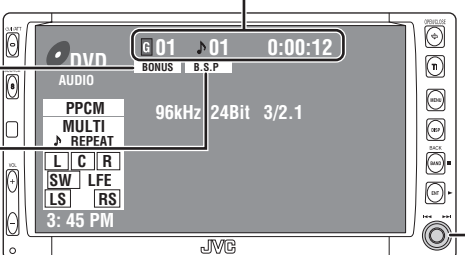
押す:チャプターを選ぶ  
押し続ける:早送り/早戻し\*1

押す:タイトルを選ぶ

**DVD**  
オーディオ

BONUS表示 (→27ページ)  
B.S.P.表示 (→27ページ)

グループ番号/トラック番号/再生時間



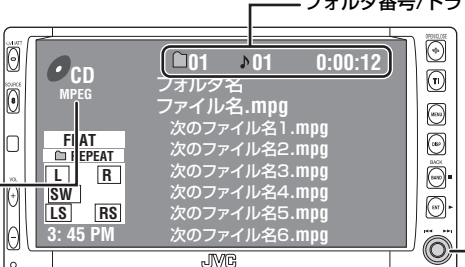
押す:トラックを選ぶ  
押し続ける:早送り/早戻し\*1

押す:グループを選ぶ

DivX  
MPEG  
JPEG

ディスクとファイルの種類

フォルダ番号/トラック番号/再生時間(JPEGを除く)



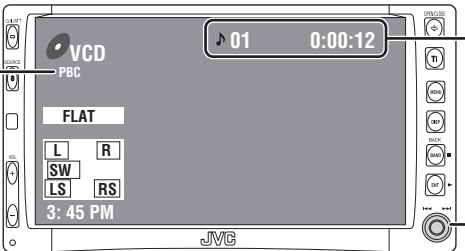
押す:トラックを選ぶ  
押し続ける:早送り/早戻し(JPEGを除く)\*2

押す:フォルダを選ぶ  
押し続ける:フォルダリストを表示する

**VCD**

PBC表示 (PBC再生時に点灯)

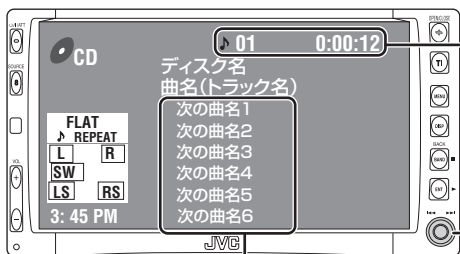
トラック番号/再生時間



押す:トラックを選ぶ  
押し続ける:早送り/早戻し\*1

\*1 サーチ速度: x2 ⇨ x10.

\*2 サーチ速度: ▶▶1 ⇨ ▶▶2.



トラック番号/再生時間



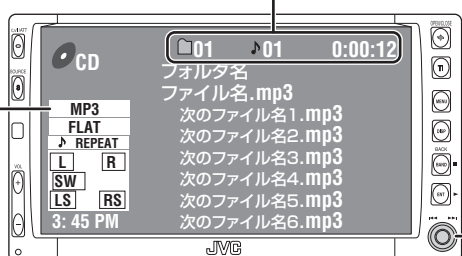
押す:トラックを選ぶ  
押し続ける:早送り/早戻し\*1

### トラックリスト

- ディスク名などのテキスト情報が記録されていないときは、「NO NAME」と表示されます。



### フォルダ番号/トラック番号/再生時間



音声ファイル形式  
(MP3/WMA/  
WAV)



押す:トラックを選ぶ  
押し続ける:早送り/早戻し\*1



押す:フォルダを選ぶ  
押し続ける:フォルダリス  
トを表示する

- 「タグ表示」が「On」(⇒49ページ)になっているときは、記録されているタグ情報がフォルダ名やファイル名にかわって表示されます(トラックリスト表示は、この設定にかかわらず、つねにファイル名です)。

\*1 サーチ速度: x2 ⇒ x10.

## スピーカー/音声信号表示について

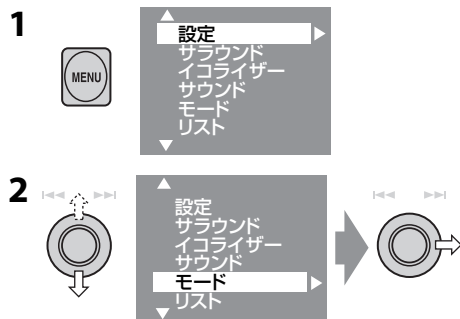
スピーカー表示	音声信号表示
L C R	L C R
SW	LFE
LS RS	LS S RS

- L:左フロントスピーカー/チャンネル
  - R:右フロントスピーカー/チャンネル
  - C:センタースピーカー/チャンネル
  - LS:左サラウンドスピーカー/チャンネル
  - RS:右サラウンドスピーカー/チャンネル
  - LFE: LFE(Low Frequency Effect: 低域効果音)チャンネル
  - S:モノラルサラウンド
- L / R / LS / LR: 「スピーカーサイズ」(⇒52ページ)で「大」または「小」に設定されているスピーカー表示が青く点灯します。
  - C: 「スピーカーサイズ」(⇒52ページ)で「大」または「小」に設定されていて、かつサラウンドが使われているときに青く点灯します。
  - SW: 「サブウーハー」(⇒52ページ)が「あり」に設定されているとき青く点灯します。
  - スピーカー表示の点灯していないスピーカーからは音は聞こえません。
  - 音声信号を検出すると、対応した音声信号表示(スピーカー表示内の文字)が白文字になります。(信号が来ていないときは、黒文字になります。)

## いろいろな再生モードを使う

本機では以下の再生モードをお楽しみいただけます—イントロ再生/リピート再生/ランダム再生。

### • 例：トラックリピート再生を選ぶ



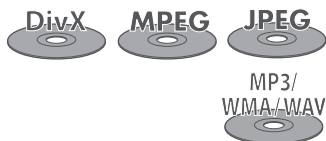
選ばれた再生モード表示がソース(音源)情報画面に点灯します。

再生モードを解除するには、手順3または手順4で「Off」を選びます。

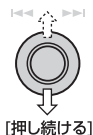
ディスクの種類	イントロ再生	リピート再生	ランダム再生
DVDビデオ	—	<b>チャプター:</b> 再生中のチャプターをくり返す <b>タイトル:</b> 再生中のタイトルをくり返す	—
DVDオーディオ	—	<b>トラック:</b> 再生中のトラックをくり返す	—
VCD	<b>トラック:</b> 全トラックを15秒ずつ再生(PBC再生中を除く)	<b>トラック:</b> 再生中のトラックをくり返す(PBC再生中を除く)	<b>ディスク:</b> 全トラックをランダムに再生(PBC再生中を除く)
MP3/WMA/WAV	<b>トラック:</b> 全トラックを15秒ずつ再生 <b>フォルダ:</b> 全フォルダの最初のトラックを15秒ずつ再生	<b>トラック:</b> 再生中のトラックをくり返す <b>フォルダ:</b> 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返す	<b>フォルダ:</b> 再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生。その後、次のフォルダへ <b>ディスク:</b> 全トラックをランダムに再生
DivX	—	<b>トラック:</b> 再生中のトラックをくり返す <b>フォルダ:</b> 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返す	—
MPEG	—	<b>フォルダ:</b> 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返す	—
JPEG	—	<b>フォルダ:</b> 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返す	—

## プレイリストを見ながら選ぶ

再生中のディスクのフォルダ名やトラック名をリスト表示して、選ぶことができます。



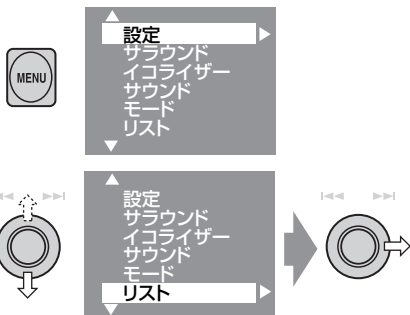
1



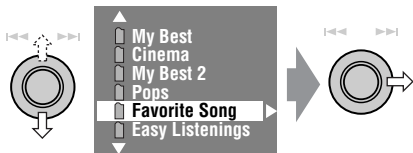
[押し続ける]

画面左側にフォルダ名のリスト、右側に現在再生中のフォルダに入っているトラックのリストが表示されます。

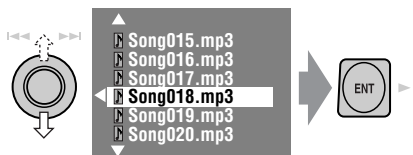
- プレイリストは、「メニュー」→「リスト」と選んでも、表示できません。



## 2 フォルダを選ぶ



## 3 トラックを選ぶ

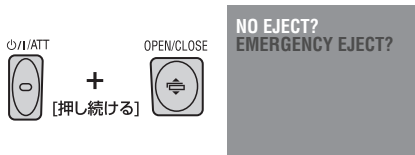


選んだトラックから再生が始まります。

## ディスクの盗難防止

ディスクを取り出せなくすることができます。

1



2



「No Eject」表示が点滅して、ディスクの取り出しができなくなります。

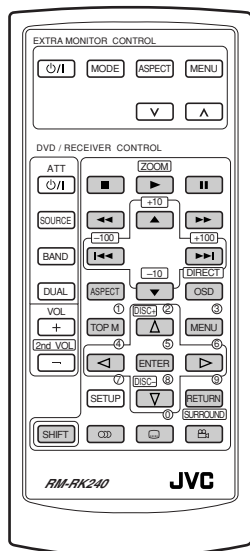
ディスクを再び取り出せるようにするには、手順1で「EJECT OK?」が表示、選択されているのを確認してから、ENTボタンを押します。

## お知らせ

本機の動作の不具合などで、リセットボタン(→66ページ)を押したときは盗難防止機能は解除されます。



## リモコン(RM-RK240)で操作する



・数値を入力するときは、「数値の入力のしかた」(→30ページ)。

- : 停止する
- : 一時停止する(一時停止中: コマ送り再生)
- : 再生する(再生中: 約10秒前の場面に戻る—ちょっと見バック)
- : 早戻し/早送り\*<sup>1</sup>(一時停止中: スロー再生\*<sup>2</sup>)
- : チャプターを選ぶ  
再生中: 押し続けて、早戻し/早送り\*<sup>3</sup>
- : タイトルを選ぶ
- ASPECT : 画面サイズを選ぶ
- : 字幕を切り換える
- : 音声言語を切り換える
- : アングルを切り換える
- SHIFT + ①...⑨ : 再生中/一時停止中: チャプターを選ぶ  
停止中: タイトルを選ぶ
- SHIFT + ( ) → ①...⑨ : タイトルを選ぶ

DVD  
ビデオ

### ディスクメニューを使う

- 1
- 2 メニューの項目を選ぶ
- 3

- : 停止する
  - : 一時停止する(動画の一時停止中: コマ送り再生)
  - : 再生する(動画再生中: 約10秒前の場面に戻る—ちょっと見バック)
  - : 早戻し/早送り\*<sup>1</sup>
  - : トラックを選ぶ  
押し続けると、早戻し/早送り\*<sup>3</sup>
  - : グループを選ぶ
  - ASPECT : 画面サイズを選ぶ
  - : 音声言語を切り換える
  - SHIFT + ①...⑨ : トラックを選ぶ
  - SHIFT + ( ) → ①...⑨ : グループを選ぶ
- ### ディスクメニューを使う
- 1
  - 2 メニューの項目を選ぶ
  - 3

DVD  
ビデオ

\*<sup>1</sup> サーチ速度: x2 ⇒ x5 ⇒ x10 ⇒ x20 ⇒ x60 (動画再生時は音声は聞こえません)

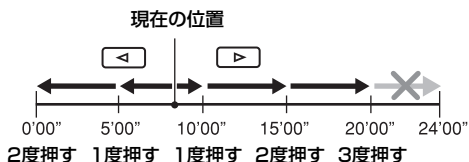
\*<sup>2</sup> スロー速度: 1/32 ⇒ 1/16 ⇒ 1/8 ⇒ 1/4 ⇒ 1/2 (スロー再生時は音声は聞こえません)

\*<sup>3</sup> サーチ速度: x2 ⇒ x10 (動画再生時は音声は聞こえません)



- : 停止する
- ⏸ : 一時停止する(一時停止中:コマ送り再生)
- ▶ : 再生する
- ⏮ ▶▶ : 早戻し/早送り\*4
- ⏪ ⏩ : トラックを選ぶ  
押し続けると、早戻し/早送り\*5
- ▲ ▼ : フォルダを選ぶ
- ASPECT : 画面サイズを選ぶ
- CC : 字幕を切り換える(DivXのみ)
- CD : 音声言語を切り換える(DivXのみ)
- SHIFT + ①...⑨ : トラックを選ぶ  
(同一フォルダ内)
- SHIFT + (DIRECT OSD) → ①...⑨ : フォルダを選ぶ\*6

◀ ▶ : 約5分間分戻る/進む



- : 停止する
- ⏸ : 一時停止する
- ▶ : 再生する
- ⏮ ▶▶ : トラックを選ぶ
- ▲ ▼ : フォルダを選ぶ

- ASPECT : 画面サイズを選ぶ
- SHIFT + ①...⑨ : トラックを選ぶ  
(同一フォルダ内)
- SHIFT + (DIRECT OSD) → ①...⑨ : フォルダを選ぶ\*6



- : 停止する
- ⏸ : 一時停止する(一時停止中:コマ送り再生)
- ▶ : 再生する
- ⏮ ▶▶ : 早戻し/早送り\*7(一時停止中:スロー再生\*8)
- ⏪ ⏩ : トラックを選ぶ  
押し続けると、早戻し/早送り\*9
- ASPECT : 画面サイズを選ぶ
- CD : 音声チャンネルを切り換える  
(ST:ステレオ、L:左、R:右)
- SHIFT + ①...⑨ : トラックを選ぶ

PBC付きビデオCDを再生すると、PBC再生が始まります。



• PBC表示がソース(音源)情報画面に点灯します。

SHIFT + ①...⑨ : メニュー項目を選ぶ(ディスプレイメニュー表示後)

• RETURN : 前のメニューに戻る

PBC機能を使わずに再生するには

1 ■

2 トラックを選ぶ SHIFT + ①...⑨

• PBC再生に戻るには、TOP / MENU を押す

\*4 サーチ速度: ▶▶1 ⇨ ▶▶2 ⇨ ▶▶3 (音声は聞こえません)

\*5 サーチ速度: ▶▶1 ⇨ ▶▶2 (音声は聞こえません)

\*6 フォルダ名の始まりに、半角数字で2桁の番号(01, 02, 03など)を付けておいてください。

\*7 サーチ速度: x2 ⇨ x5 ⇨ x10 ⇨ x20 ⇨ x60

\*8 スロー速度: 1/32 ⇨ 1/16 ⇨ 1/8 ⇨ 1/4 ⇨ 1/2 (逆方向スロー再生はできません。音声は聞こえません)

\*9 サーチ速度: x2 ⇨ x10

<p>  : 停止する   : 一時停止する   : 再生する    : 早戻し/早送り*7    : トラックを選ぶ                  押し続けると、早戻し/早送り*9             </p>	<p>   : フォルダを選ぶ                  SHIFT + ①...⑨ : トラックを選ぶ                  (同一フォルダ内)                  SHIFT +  → ①...⑨ : フォルダを選ぶ*10             </p>	<p>MP3/ WMA/WAV</p>
--	---	-------------------------

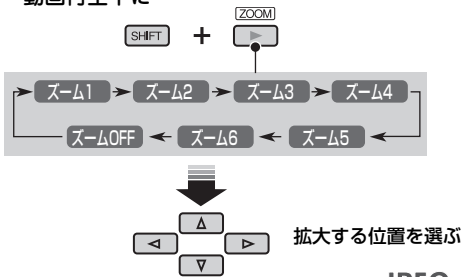
<p>  : 停止する   : 一時停止する   : 再生する    : 早戻し/早送り*7    : トラックを選ぶ                  押し続けると、早戻し/早送り*9                  SHIFT + ①...⑨ : トラックを選ぶ             </p>	<p>CD</p>
---	-----------

### 映像をズームする

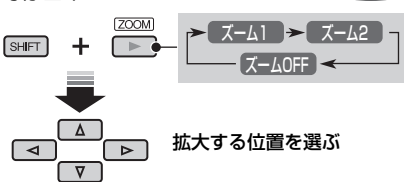
映像をズーム(拡大)して、お楽しみいただけます。



・動画再生中に…



・一時停止中に…



ズームをやめるには、「ズームOFF」を選びます。

\*7 サーチ速度: x2 ⇨ x5 ⇨ x10 ⇨ x20 ⇨ x60  
 \*9 サーチ速度: x2 ⇨ x10  
 \*10 フォルダ名の始まりに、半角数字で2桁の番号(01, 02, 03など)を付けておいてください。

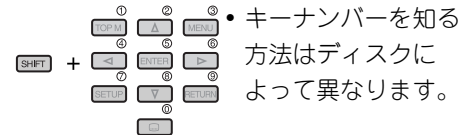
### ボーナスグループを再生する

DVDオーディオには、ボーナスグループが収録されているものがあります。キーナンバーを入力すると、このボーナスグループ内のトラックを再生できます。

- ・ボーナスグループが検出されると、**BONUS**表示が点灯します。

#### 1 ボーナスクープを選ぶ

#### 2 キーナンバーを入力する



### 静止画像を選ぶ

DVDオーディオには、音声とともに自動再生される静止画(Browsable Still Picture: BSP)があります。

- ・静止画(BSP)が検出されると、**B.S.P.**表示が点灯します。

BSP選択画面が表示されたら…



# サラウンドを楽しむ

本機では、5.1チャンネル再生で、本格的にマルチチャンネルサラウンドをお楽しみいただけます。

- ・フロントスピーカーだけをお使いのときは、サラウンドを使うことはできません。

**MULTI:**ドルビーデジタル、DTSやDVDオーディオのマルチチャンネル方式で収録されている音声を、サラウンドで再生します。このときは、**MULTI**表示がソース(音源)情報画面に点灯します。




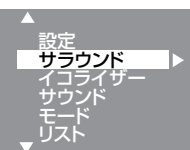




**ドルビー プロロジックII(ミュージック/ムービー):**2チャンネルで収録されている音声(DivX/MPEGディスクを除く)を、サラウンドで再生します。

- ・**ミュージック:**音楽ソフトに適しています。
- ・**ムービー:**映画ソフトに適しています。


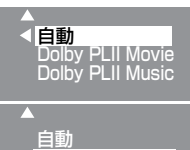


## お知らせ

ドルビー プロロジックIIは、ソース(音源)が「SD」のときも、音声ファイル再生時に使うことができます。

## サラウンドを「入/切」する

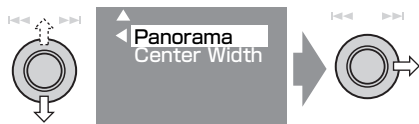
- 1  
- 2   
- 3   

- ・**サラウンドOff:**サラウンドを「切」にする
- ・**サラウンドOn:**サラウンドを「入」にする → 手順4に進む。

- 4    

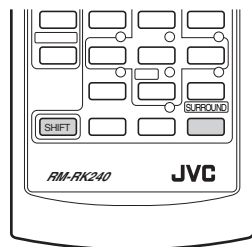
- ・**自動:**マルチチャンネル信号が検出されると、信号に最適な「MULTI」サラウンドが「入」になります。
- ・**Dolby PL II Movie:**ドルビー プロロジックII ムービーを「入」にします。
- ・**Dolby PL II Music:**ドルビー プロロジックII ミュージックを「入」にします。 → 手順5に進む。

## 5



- **Panorama:**「On」を選ぶと、音声がり込んでくるような効果が強調されます。
- **Center Width:**センターチャンネルの音声の広がり度合いを「0」または、「1」から「7」までの範囲で調節します。「0」または数字が小さい値に設定するほど、センターチャンネル音声中央にまとまった感じで聞こえてきます。通常は「4」に設定して、お楽しみください。

## リモコンを使う

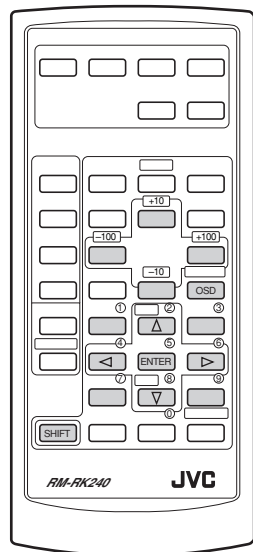


## 1



- リモコンからの操作では、ドルビー プロロジックII ミュージックの「Panorama」と「Center Width」の調節はできません。

# メニューバーで操作する



## ① メニューバー(→31ページ)を表示する

OSD  
(2度押す)

- 1回押すと、ディスク情報部が表示され、2回押すと、操作バーが表示されます。
- メニューバーを消すには、もう一度押します。

## ② メニューバー内にある設定したい項目を選ぶ



## ③ 設定値を選ぶ



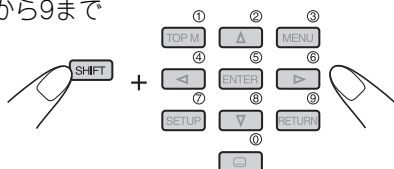
- ポップアップウインドウが表示されたときは...



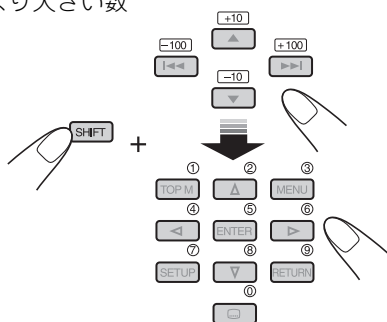
- 数値や時間を入力するときは、下欄をご覧ください。

## 数値の入力のしかた

- 0から9まで



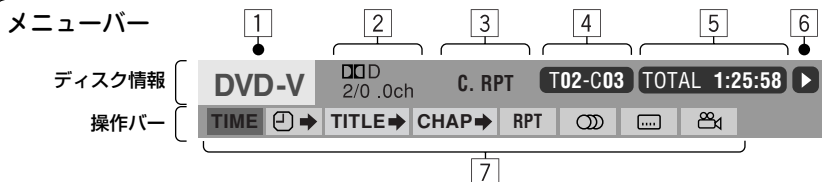
- 9より大きい数



- +100/-100ボタンは、3桁目の数値を入力するときに使います。
- -10/-100ボタンを押すと、数値を減らすことができます。

## 例: 時間を入力する

- DVD ⇒ --:--:--  
「1時間02分54秒」と入力するには  
数字ボタンの「1」、「0」、「2」、「5」、「4」と順に押していき、最後にENTERボタンで確定する。
- VCD(PBCなし) ⇒ --:--:--  
「64分00秒」と入力するには  
数字ボタンの「6」、「4」と押して、ENTERボタンで確定する。
- DVDのときは、1時間以内を指定するときでも、必ず、「時間」を入力します(「0」を入れる)。
- 最後の方の数字が、0分や0秒のときは、「0」の入力を省略できます。
- 間違いを訂正するには、◀を押す。  
最後に入力した数値を消去できます。



・上のメニューバーはDVDビデオの場合の例です。ディスクによりメニューバー内に表示される項目は異なります。

### 1 ディスクの種類

- 2 ・ DVD: 音声記録方式  
 ・ VCD: PBCあり/なし

### 3 再生モード

#### DVDビデオ:

- T. RPT: タイトルリピート  
 C. RPT: チャプターリピート

#### DVDオーディオ:

- T. RPT: トラックリピート

#### DivX/MPEG:

- T. RPT: トラックリピート  
 F. RPT: フォルダリピート

#### JPEG:

- F. RPT: フォルダリピート

#### VCD(PBC「切」時):

- T. RPT: トラックリピート  
 D. RND: ディスクランダム  
 T. INT: トラックイントロ

### 4 再生項目

- T02-C03** 現在のタイトル/チャプター  
**G02-T03** 現在のグループ/トラック  
**TRACK 01** 現在のトラック  
**F001-T001** 現在のフォルダ/トラック

### 5 再生時間

- TOTAL** ディスクの再生経過時間  
**T. REM** ・ DVD:現在のタイトルの残り時間  
 ・ 他のディスク:ディスクの残り時間  
**TIME** 現在のチャプターやトラックの再生経過時間  
**REM** 現在のチャプターやトラックの残り時間

### 6 再生状態

- 再生中  
 早戻し/早送り中  
 逆方向/正方向スロー再生中  
 一時停止中  
 停止中

### 7 操作バー項目

- TIME** 再生時間情報の切り換え  
 タイムサーチ(タイトルやディスクの経過時間を指定して再生する)  
**TITLE**▶ タイトルサーチ(タイトル番号を指定して再生する)  
**GROUP**▶ グループサーチ(グループ番号を指定して再生する)  
**CHAP**▶ チャプターサーチ(チャプター番号を指定して再生する)  
**TRACK**▶ トラックサーチ(トラック番号を指定して再生する)  
**RPT** リピート再生\*  
**INT** イントロ再生\*  
**RND** ランダム再生\*  
 音声言語や音声チャンネルを切り換える  
 字幕を切り換える  
 アングルを切り換える  
**PAGE 1/8** BSP画像(ページ)を切り換える  
 例: 1/8(現在のページ/総ページ数)



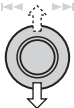
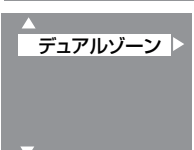
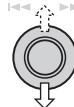
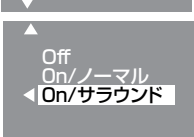
\* →23ページ

# 2つのソース(音源)を操作する

DVDなどの映像を外部モニターで再生しながら、他のソース(音源)を本機のモニターに表示、その音声をスピーカーで聞くことができます(デュアルゾーン)。

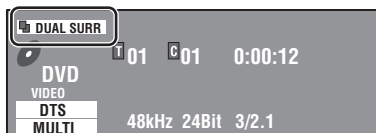
- デュアルゾーン中は、ディスクはリモコンで操作します。
- 外部モニターの接続については、別紙の「取付説明書」をご覧ください。

## デュアルゾーンを「入」にする

- 1    
設定  
サラウンド  
イコライザー  
サウンド  
モード  
リスト
- 2    
デュアルゾーン
- 3    
Off  
On/ノーマル  
On/サラウンド

- **Off:** デュアルゾーンを「切」にする。
- **On/ノーマル(DUAL):** ヘッドホンサラウンド\*は「切」、デュアルゾーンを「入」にする。
- **On/サラウンド(DUAL SURR):** ヘッドホンサラウンドを「入」(「Headphone Surround」と表示されます)、デュアルゾーンを「入」にする。

デュアルゾーンを「入」にすると、ソース(音源)は「DISC」に切り換わります。

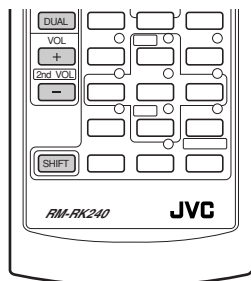




本機のモニター上のソース(音源)を「DISC」から切り換えるには、本体の**SOURCE**ボタンを押します。

- 本機モニター上のソース(音源)はリモコンでは操作できません。
- 「SD」には切り換えられません。
- 本体のボタンを使うと、外部モニターでのディスクの再生に影響を与えることなく、本機モニター上のソース(音源)を操作できます。

## リモコンでのデュアルゾーン操作

- リモコンは本機に向けて操作してください。



- 1   切 → DUAL (On/ノーマル) ←  
DUAL SURR (On/サラウンド) ←
- 2 ヘッドホン(2nd AUDIO OUTプラグ)からの音量を調節します。  

- 3 ディスクを操作する

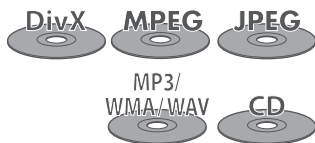
\* ピクチャー独自のヘッドホンのためのパーソナルサラウンドシステムです。

## お知らせ

ヘッドホンサラウンドはDivX/MPEGディスクには動きません。

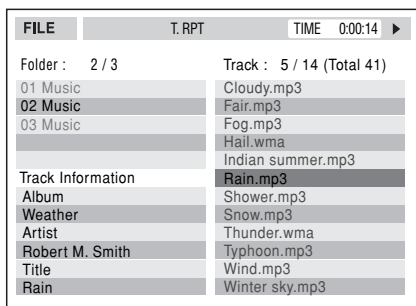


## 外部モニターの操作画面を使う

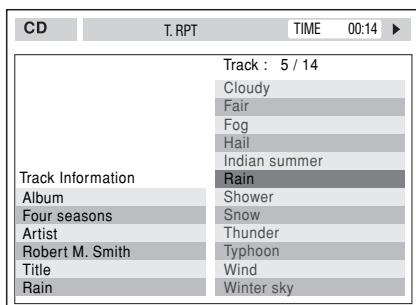


デュアルゾーン中は、外部モニターに表示される操作画面を、リモコンで操作できます。

- 操作画面は音楽系ディスクを再生したときは、自動で表示されます。映像系ディスクの場合は、停止中に表示されます。



例:MP3/WMAのとき

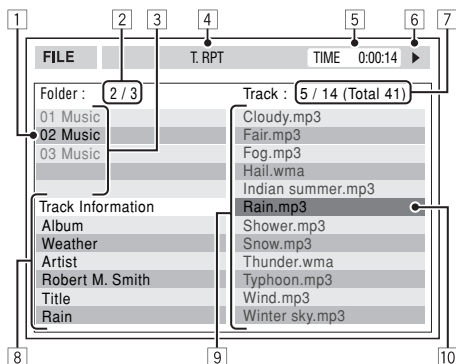


例:CDテキストのとき

## お知らせ

画面には英数カタカナのみ表示されます。漢字・ひらがななど表示できない文字は、すべて「—」(アンダーバー)と表示されます。

## MP3/WMA/WAV/DivX/MPEG:



例:MP3/WMAのとき

- 現在のフォルダ
- 現在のフォルダ番号/ディスク内のフォルダの総数
- フォルダリスト
- 現在選ばれている再生モード
- 再生経過時間(JPEGを除く)
- 再生状態
- 現在のトラック番号/フォルダ内のトラックの総数(ディスク内のトラックの総数)
- タグ情報(MP3/WMA/WAVのみ)
- トラックリスト
- 選択表示(トラックやフォルダを選択する)

## フォルダ/トラックを選ぶ

- リモコンは本機に向けて操作してください。

## 1 選択表示をフォルダ欄またはトラック欄に移動する

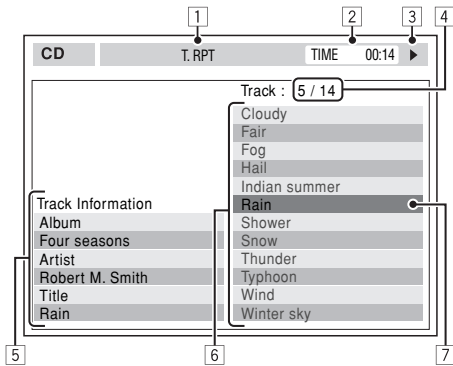


## 2 フォルダやトラックを選ぶ



- 停止中は、ENTERボタンを押し再生を始める。

## CD:



例: CDテキストのとき

- 1 現在選ばれている再生モード
- 2 再生経過時間
- 3 再生状態
- 4 現在のトラック番号/ディスク内のトラックの総数
- 5 テキスト情報(CDテキストのみ)
- 6 トラックリスト
- 7 選択表示(トラックを選択する)

### トラックを選ぶ

- ・リモコンは本機に向けて操作してください。

#### 1 トラックを選ぶ

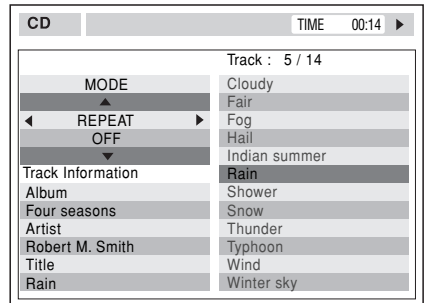


- ・停止中は、**ENTER**ボタンを押し再生を始める。

### 再生モードを選ぶ

- ・音楽系ディスク(MP3/WMA/WAV/CD):イントロ再生、リピート再生、ランダム再生がお楽しみいただけます。
- ・リモコンは本機に向けて操作してください。

#### 1



#### 2 再生モードを選ぶ(音楽系ディスクのみ)



#### 3 設定する



## 外部モニターのリスト画面を使う

デュアルゾーン中は、外部モニターに表示されるリスト画面を、リモコンで操作できます。(DVD、ビデオCDとCDの場合は、この機能は使えません。)

・リモコンは本機に向けて操作してください。

### フォルダリスト:

Folder : 143/240 Track 144/198 Page : 4/7			
fol120	fol130	fol140	fol150
fol121	fol131	fol141	fol151
fol122	fol132	fol142	fol152
fol123	fol133	fol143	fol153
fol124	fol134	fol144	fol154
fol125	fol135	fol145	fol155
fol126	fol136	fol146	fol156
fol127	fol137	fol147	fol157
fol128	fol138	fol148	fol158
fol129	fol139	fol149	fol159

### トラックリスト:

Folder : 143/240 Track 144/198 Page : 4/5			
file0121.mp3	file0131.mp3	file0141.wma	file0151.wma
file0122.mp3	file0132.mp3	file0142.mp3	file0152.mp3
file0123.wma	file0133.mp3	file0143.wma	file0153.wma
file0124.mp3	file0134.mp3	file0144.mp3	file0154.mp3
file0125.mp3	file0135.wma	file0145.mp3	file0155.wma
file0126.wma	file0136.mp3	file0146.mp3	file0156.wma
file0127.wma	file0137.wma	file0147.mp3	file0157.wma
file0128.mp3	file0138.mp3	file0148.wma	file0158.wma
file0129.mp3	file0139.wma	file0149.wma	file0159.mp3
file0130.wma	file0140.wma	file0150.wma	file0160.wma

## フォルダ/トラックを選ぶ

・リモコンは本機に向けて操作してください。

停止中に...

### 1 リスト画面を表示する

MENU

Folder : 143/240 Track 144/198 Page : 4/7			
fol120	fol130	fol140	fol150
fol121	fol131	fol141	fol151
fol122	fol132	fol142	fol152
fol123	fol133	fol143	fol153
fol124	fol134	fol144	fol154
fol125	fol135	fol145	fol155
fol126	fol136	fol146	fol156
fol127	fol137	fol147	fol157
fol128	fol138	fol148	fol158
fol129	fol139	fol149	fol159

・もう一度押すと消えます。

### 2 フォルダを選ぶ



トラックリストが表示されます。

Folder : 143/240 Track 144/198 Page : 4/5			
file0121.mp3	file0131.mp3	file0141.wma	file0151.wma
file0122.mp3	file0132.mp3	file0142.mp3	file0152.mp3
file0123.wma	file0133.mp3	file0143.wma	file0153.wma
file0124.mp3	file0134.mp3	file0144.mp3	file0154.mp3
file0125.mp3	file0135.wma	file0145.mp3	file0155.wma
file0126.wma	file0136.mp3	file0146.mp3	file0156.wma
file0127.wma	file0137.wma	file0147.mp3	file0157.wma
file0128.mp3	file0138.mp3	file0148.wma	file0158.wma
file0129.mp3	file0139.wma	file0149.wma	file0159.mp3
file0130.wma	file0140.wma	file0150.wma	file0160.wma

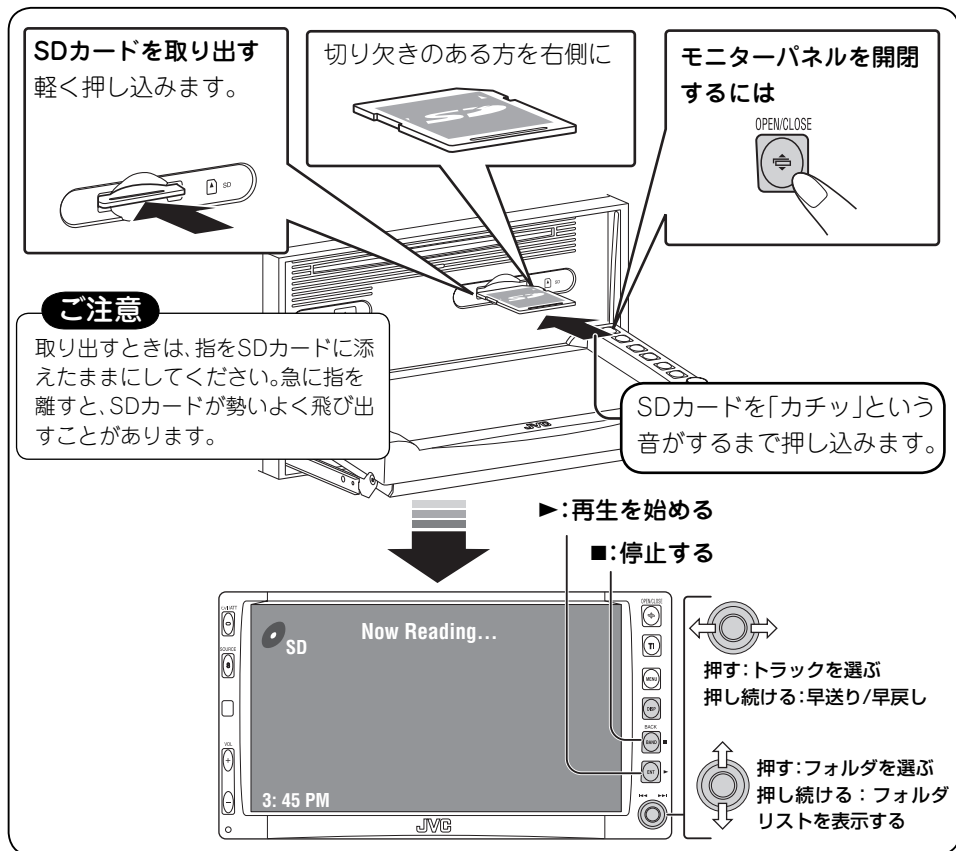
### 3 トラックを選ぶ



・フォルダリストに戻るには、RETURNを押す。

- 1 現在のフォルダ番号/ディスク内のフォルダの総数
- 2 現在のトラック番号/フォルダ内のトラックの総数
- 3 現在表示されているページ/リストの総ページ数
- 4 選択表示(トラックやフォルダを選択する)

# SDカードを再生する



本機はSDカードに収録されているMP3/WMA/JPEGファイルを再生することができます。

SDカード内のすべてのファイルがくり返し再生されます。

- 音楽ファイル(MP3/WMA)と静止画ファイル(JPEG)が同じSDカードに収録されているときは、あらかじめ再生するファイルの種類を選んでおきます(➡51ページ)。
- SDカード内のフォルダやファイルは書き込みした順序で再生します。パソコン上のフォルダ/ファイルの順と異なることがあります。
- デュアルゾーン中は、「SD」をソース(音源)として選ぶことはできません。

SDカードの再生操作は、ディスクに収録されているMP3/WMA/JPEGファイルの再生操作と同じです(➡21、22、26、27ページ)。ただし、外部モニターを使っている操作はできません。

音楽ファイル(MP3/WMA)再生時は、ドルビープロロジックIIでサラウンドをお楽しみいただけます(➡28ページ)。

## ご注意

大切なデータは事前にバックアップをおとりください。また、データを読み込み中はSDカードを抜かないでください。収録されているデータが破損することがあります。

## いろいろな再生モードを使う

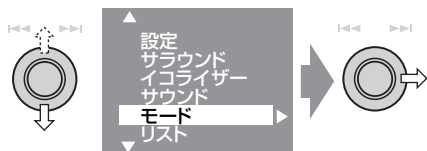
本機では以下の再生モードをお楽しみいただけます—イントロ再生/リピート再生/ランダム再生。

### 例：トラックリピート再生を選ぶ

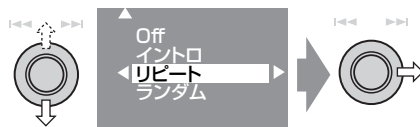
1



2



3



4



選ばれた再生モード表示がソース(音源)情報画面に点灯します。

再生モードを解除するには、手順3または手順4で「Off」を選びます。

SDカードを再生する

ファイルの種類	イントロ再生	リピート再生	ランダム再生
MP3/WMA	トラック: 全トラックを15秒ずつ再生 フォルダ: 全フォルダの最初のトラックを15秒ずつ再生	トラック: 再生中のトラックをくり返す フォルダ: 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返す	フォルダ: 再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生。その後、次のフォルダへ SD: 全トラックをランダムに再生
JPEG	—	フォルダ: 再生中のフォルダ内の全トラックをくり返す	—

# CDチェンジャーのディスクを聞く

トラック番号/再生時間

電源⇒入

①

トラックリスト  
(CDテキスト/MP3  
ディスクのみ)

CD-CH ディスク名  
ディスク番号 曲(ファイル)名

01 0:00:12

FLAT REPEAT

3: 45 PM

次の曲(ファイル)名1  
次の曲(ファイル)名2  
次の曲(ファイル)名3  
次の曲(ファイル)名4  
次の曲(ファイル)名5  
次の曲(ファイル)名6

②, ③

押す:トラックを選ぶ  
押し続ける:早送り/早戻し

押す:フォルダを選ぶ  
(MP3のみ)  
押し続ける:ディスクリ  
ストを表示する

・MP3ディスクの場合、「タグ表示」が「On」(→49ページ)になっているときは、記録されているタグ情報がフォルダ名やファイル名にかわって表示されます(トラックリスト表示は、この設定にかかわらず、つねにファイル名です)。

本機からは、次のCDチェンジャーを操作することができます。

- ・CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
- ・CH-XシリーズのCDチェンジャー  
(CH-X99は除く)

準備:

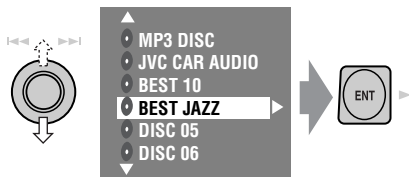
「外部入力」の設定で「チェンジャー」を選びます(→54ページ)。

- ① 「CD-CH」を選ぶ
- ② ディスクリストを表示する

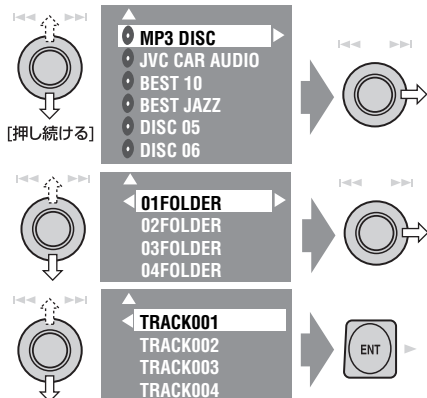


- ・同じ動作をくり返すと、続きのディスクリスト(残りの6枚)を表示できます。

## ③ 再生するディスクを選ぶ



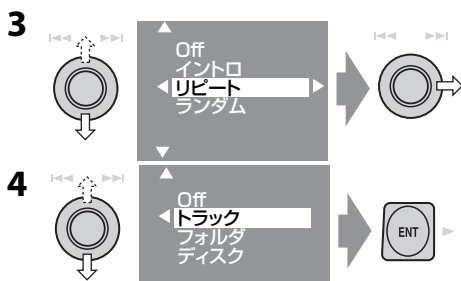
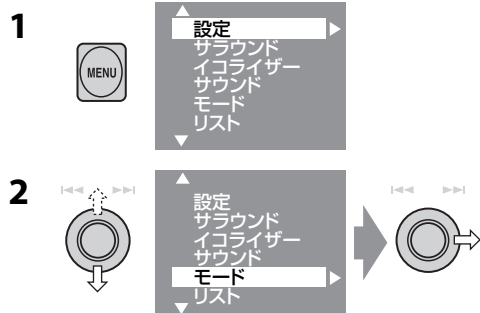
MP3ディスクを再生中は、お好きなトラックを選んで再生を始められます。ディスクリスト(再生中のディスクを選ぶ)⇒フォルダリスト⇒トラックリストと順に選んでいきます。



## いろいろな再生モードを使う



本機では以下の再生モードをお楽しみいただけます—イントロ再生/リピート再生/ランダム再生。

### • 例：トラックリピート再生を選ぶ









選ばれた再生モード表示がソース(音源)情報画面に点灯します。

再生モードを解除するには、手順3または手順4で「Off」を選びます。

ディスクの種類	イントロ再生	リピート再生	ランダム再生
	<p><b>トラック:</b>再生中のディスクの全トラックを15秒ずつ再生</p> <p><b>ディスク:</b>全ディスクの最初のトラックを15秒ずつ再生</p>	<p><b>トラック:</b>再生中のトラックをくり返す</p> <p><b>ディスク:</b>再生中のディスクの全トラックをくり返す</p>	<p><b>ディスク:</b>再生中のディスクの全トラックをランダムに再生</p> <p><b>オール:</b>全ディスクの全トラックをランダムに再生</p>
	<p><b>トラック:</b>再生中のディスクの全トラックを15秒ずつ再生</p> <p><b>フォルダ:</b>再生中のディスクの全フォルダの最初のトラックを15秒ずつ再生</p> <p><b>ディスク:</b>全ディスクの最初のトラックを15秒ずつ再生</p>	<p><b>トラック:</b>再生中のトラックをくり返す</p> <p><b>フォルダ:</b>再生中のフォルダ内の全トラックをくり返す</p> <p><b>ディスク:</b>再生中のディスクの全トラックをくり返す</p>	<p><b>フォルダ:</b>再生中のフォルダ内の全トラックをランダムに再生。その後、次のフォルダへ</p> <p><b>ディスク:</b>再生中のディスクの全トラックをランダムに再生</p> <p><b>オール:</b>全ディスクの全トラックをランダムに再生</p>

• リモコンでは次のボタンがお使いになります。

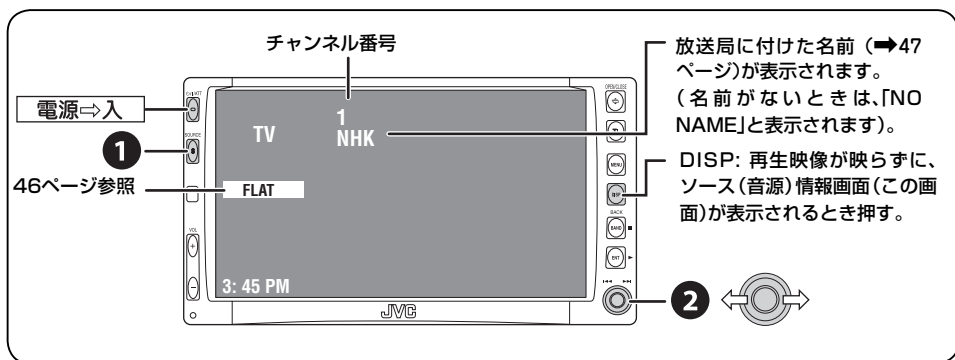
-   : ディスク選ぶ
-   : フォルダを選ぶ(MP3のみ)
-   : トラックを選ぶ

### お知らせ

- MP3ディスクの操作やCDテキストのテキストの表示は、それらの機能に対応しているチェンジャーを接続しているときに限り可能になります。
- KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、操作できませんので、ご注意ください。

# テレビを見る

本機の背面にあるAV BUS端子にピクチャー製のTVチューナーユニットKV-C1000(別売り)を接続すると、本機からテレビの操作ができます。



## ① 「TV」を選ぶ

## ② 放送局を受信する—オート選局

- ・マニュアル選局: 「Manual Search」が点滅表示するまで、**十字キー**を右もしくは左に押す。その後、「ボン」「ポン」と押して選局する。

## 放送局をプリセットする

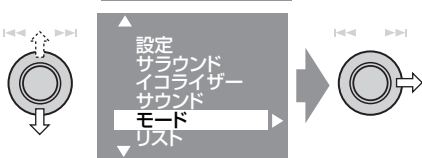
### 放送局を自動でプリセットする

電波の強い放送局を最大12局まで記憶させることができます。

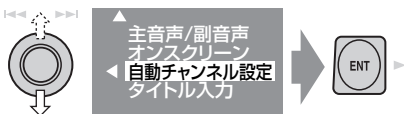
1



2



3



周波数の低い順に放送局をプリセット番号「1～12」に記憶していきます。

- ・プリセットを終了すると、プリセット番号「1」に記憶された放送局が受信されます。

## お知らせ

- ・放送局が12局より少ないときは、記憶されなかった番号には以前の記憶内容が残ります。
- ・受信状態が悪いと、うまく記憶されないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。

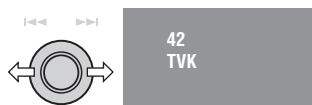


## 放送局を1局ずつ選んでプリセットする

- あとから自動でプリセットすると、記憶させた放送局が取り消されることがあります。

例: 「42チャンネル」をプリセット番号「5」に記憶させる

### 1 プリセットしたい放送局を選ぶ



### 2 プリセットリストを表示する

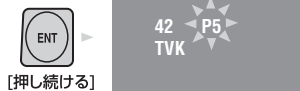


- 同じ動作をくり返すと、続きのリスト(残り6局)を表示できます。
- 放送局のリストは、「メニュー」→「リスト」と選んで表示することもできます(→右欄)。

### 3 プリセットする番号を選ぶ



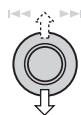
### 4



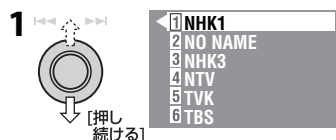
## 放送局を呼び出す(プリセット選局)

### プリセット番号を選ぶ

プリセット番号1~12に記憶されている放送局を十字キーで簡単に選局することができます。



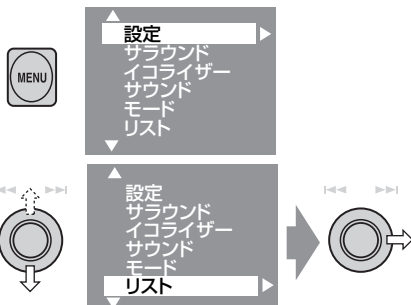
### プリセットリストを表示して選ぶ



### 2 プリセット番号を選ぶ

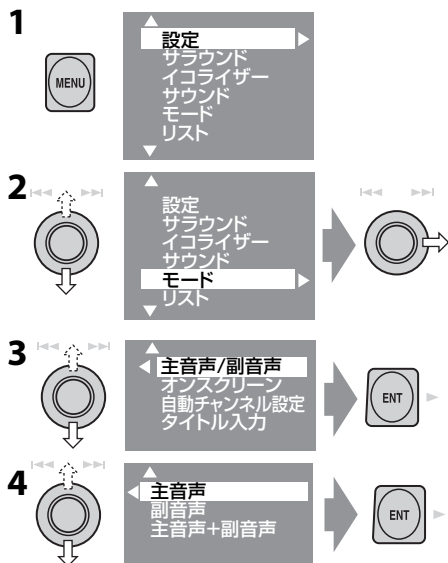


- プリセットリストは、「メニュー」→「リスト」と選んでも、表示できません。



## 主音声/副音声を切り換える

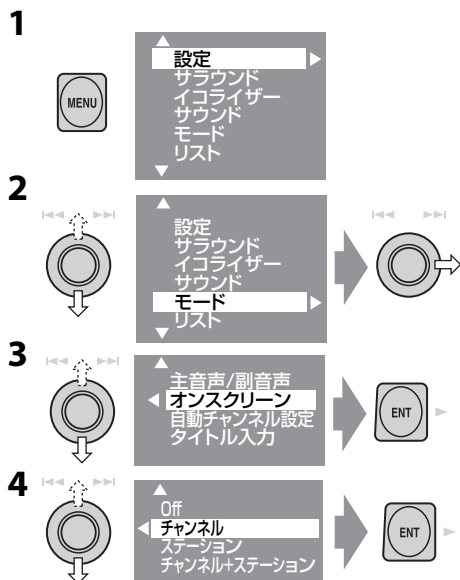
音声多重放送を受信中は、音声を切り換えることができます。



- **主音声**: 主音声聞こえます。
- **副音声**: 副音声聞こえます。
- **主音声+副音声**: 主音声/副音声が同時に聞こえます。

## 画面表示を切り換える

テレビ放送を受信中に、チャンネル番号や登録した放送局名(⇒47ページ)を表示できます。

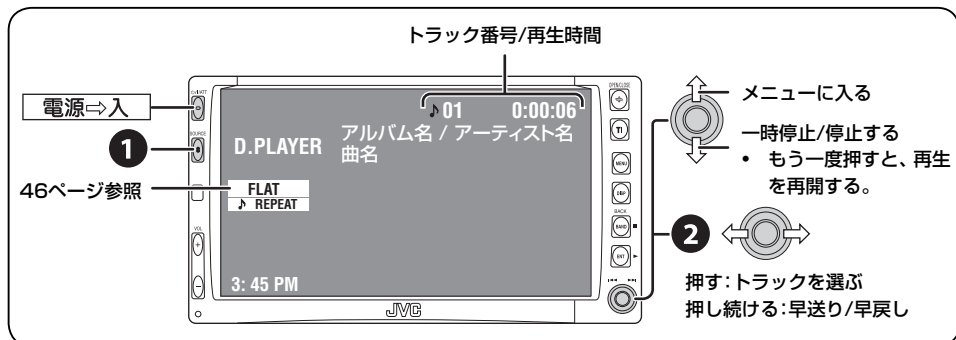


- **Off**: 表示されません。
- **チャンネル**: チャンネル番号が表示されます。
- **ステーション**: 登録した放送局名が表示されます(登録されていない場合は何も表示されません)。
- **チャンネル+ステーション**: チャンネル番号と登録した放送局名が表示されます。

## お知らせ

- TVチューナーユニットに付属しているリモコンでも操作できます。リモコンは本機に向けて操作してください。
- TVチューナーユニットに付属しているリモコンの使いかたは、TVチューナーユニットの取扱説明書をご覧ください(本機では、AUTO PRESETボタンを使って、チャンネルリストを表示することはできません)。

# iPod® /D.PLAYERの音楽を聞く



iPodや日本ビクター製のD.PLAYERの接続には、以下の別売りのインターフェースアダプターが必要になります。

- iPod用: KS-PD100
- D.PLAYER用: KS-PD500

## 準備:

「外部入力」の設定で「iPod」または「D.PLAYER」を選びます(⇒54ページ)。

## ① 「iPod」または「D.PLAYER」を選ぶ

再生が始まります。

## ② 曲を選ぶ

### メニューからファイルを選ぶ

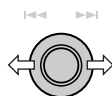
iPodやD.PLAYERのメニューから曲を選ぶことができます。

- 操作には時間制限があります。5秒以上間隔を空けないで次の操作を行ってください。

## 1 プレーヤーのメニューを表示する



## 2 メニューの項目を選ぶ



押す:選ぶ  
押し続ける:10項目を飛ばして選ぶ

- iPod: Playlists(プレイリスト)  
↔ Artists(アーティスト) ↔ Albums(アルバム) ↔ Songs(曲) ↔ Genres(ジャンル) ↔ Composers(作曲家)  
↔ (始まりに戻る)
- D.PLAYER: Playlist(プレイリスト)  
↔ Artist(アーティスト) ↔ Album(アルバム) ↔ Genre(ジャンル)  
↔ Track(トラック) ↔ (始まりに戻る)

## 3 決定する



## 4 詳細項目が表示されるときは、手順2と手順3をくり返す。

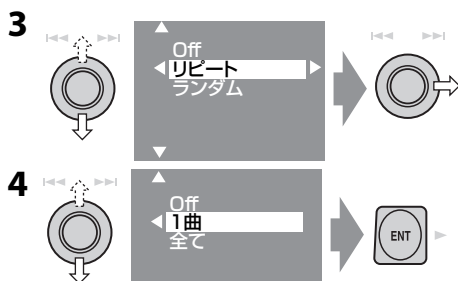
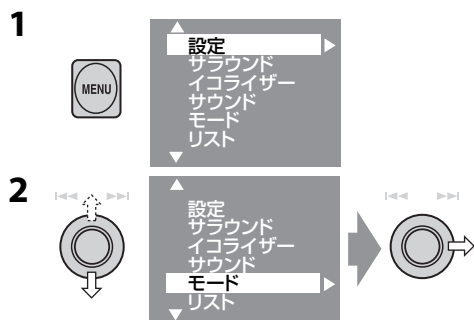
- 曲が選ばれると、その曲の再生が始まります。
- 前のメニューに戻るには…



## いろいろな再生モードを使う

本機では以下の再生モードをお楽しみいただけます—リピート再生/ランダム再生。

### 例：トラックリピート再生を選ぶ



選ばれた再生モード表示がソース(音源)情報画面に点灯します。

再生モードを解除するには、手順3または手順4で「Off」を選びます。

プレーヤーの種類	リピート再生	ランダム再生
iPod	<b>1曲</b> : iPodの「1曲」と同じ動作をします <b>全て</b> : iPodの「すべて」と同じ動作をします	<b>アルバム</b> : iPodのシャッフル「アルバム」と同じ動作をします <b>曲</b> : iPodのシャッフル「曲」と同じ動作をします
D.PLAYER	<b>1曲</b> : D.PLAYERの「1曲」と同じ動作をします <b>全て</b> : D.PLAYERの「すべて」と同じ動作をします	<b>On</b> : D.PLAYERの「ランダムプレイオン」と同じ動作をします

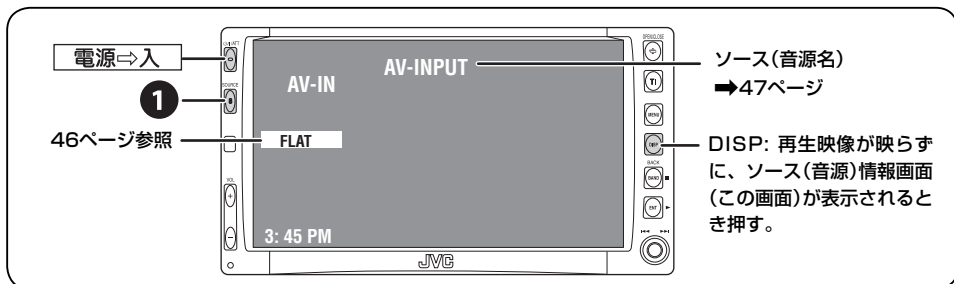
### お知らせ

iPodやD.PLAYERを取り外すときは、必ず本機の電源を「切」にしてから行ってください。

- iPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の登録商標です。

# 他の機器の映像を見る/音声を聞く

## 「AV-IN」:LINE IN/VIDEO INにつないだ機器の映像を見る



- 1 「AV-IN」を選ぶ
- 2 接続した機器で再生を始める

「AV入力」を「カメラ反転」に設定(⇒53ページ)してあるときは、音量調節などの操作表示が画面に出なくなります。

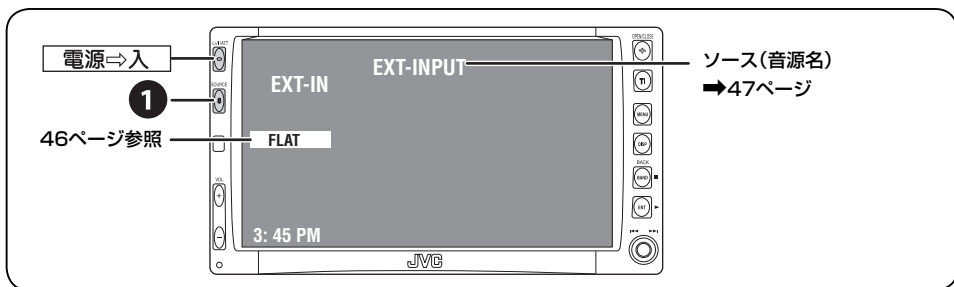
## 「EXT-IN」:チェンジャー端子につないだ機器の音声を聞く

別売りの変換アダプター(KS-U57またはKS-U58)が必要になります。

- ・ 接続などの詳細については、別紙の「取付説明書」をご覧ください。

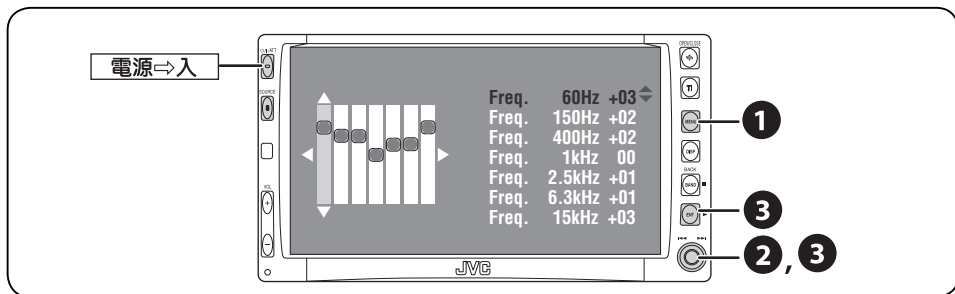
準備:

「外部入力」の設定で「外部入力」を選びます(⇒54ページ)。

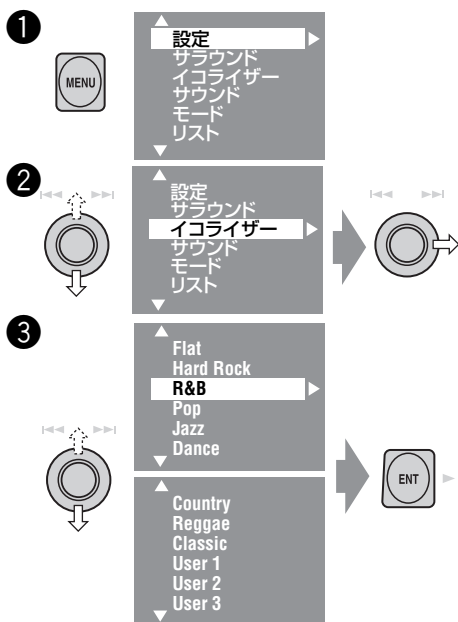


- 1 「EXT-IN」を選ぶ
- 2 接続した機器で再生を始める

# 音質を調節する



## サウンドモードを選ぶ



- Flat: 音質を調節しません。
- User 1/2/3: 調節した音質を記憶することができます。
- 各モードの初期値については、65ページをご覧ください。

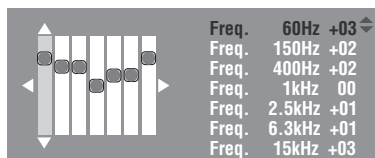
### お知らせ

- 2nd AUDIO OUT端子からの音声にはサウンドモードは動きません。
- サラウンドが使われているときは、サウンドモードは一時的に「Flat」になります。

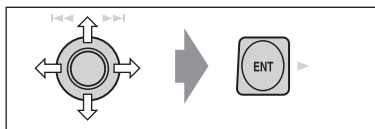
## 調節した音質を記憶(メモリー)する

User 1/2/3に記憶(メモリー)します。

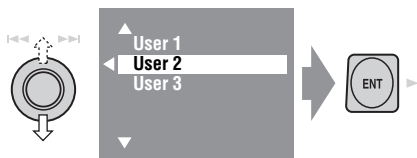
### 1 左の手順③で…



### 2 調節する



### 3 記憶(メモリー)する

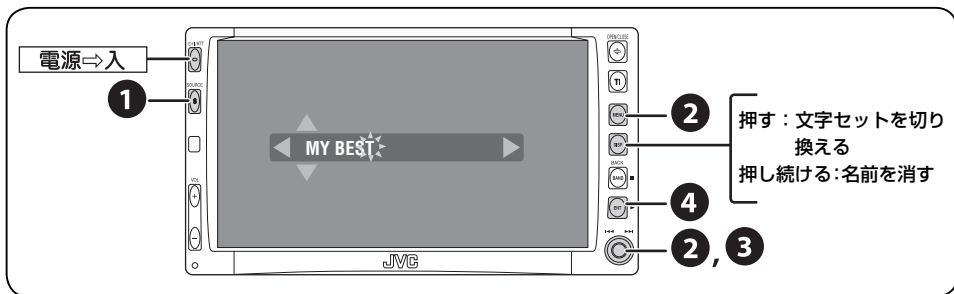


### お知らせ

本機の動作の不具合などで、リセットボタンを押すと、User 1/2/3に記憶された設定は消去され、「Flat」に戻ります。

# 放送局やディスクなどに名前を付ける

音質を調節する・放送局やディスクなどに名前を付ける



本機では以下の項目に名前を付けることができます。

- ・ AV-IN/EXT-IN: 最大16字
- ・ FM/AM/TV放送局: 各30局(最大16字)  
FM/AM放送局は、すでにプリセットしてある名前を付けることもできます(⇒53ページ)。
- ・ 音楽CD: 30枚分(最大32字)

\* CDテキストやMP3/WMA/WAVなどのディスクには名前は付けられません。

## 1 名前を登録したいソース(音源)を準備する

- ・ FM/AM/TV: 放送局を選ぶ
- ・ DISC: 音楽CDを入れる
- ・ CD-CH: ディスク(音楽CDのみ)を選ぶ
- ・ AV-IN/EXT-IN: ソース(音源)を選ぶ

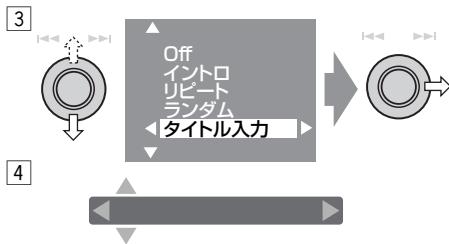
## 2 テキスト入力画面を表示する

例: 音楽ディスクに名前を付けるとき

1

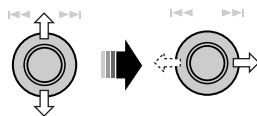


2



## 3 名前を入力する

- 1 文字(⇒61ページ)を選び、決定する



- ・ 文字セットを切り換えるときは、DISPボタンを押します。

- 2 名前を付け終わるまで、前の手順をくり返す



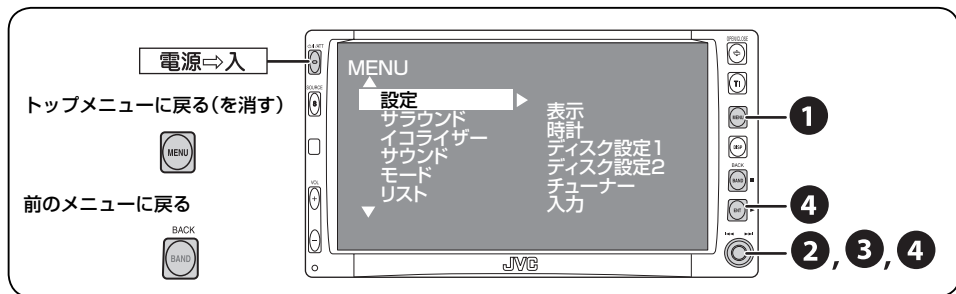
## 4 登録する




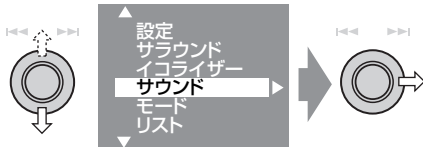
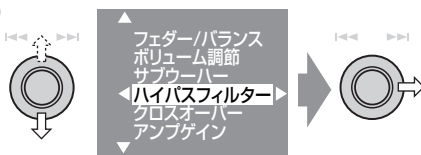
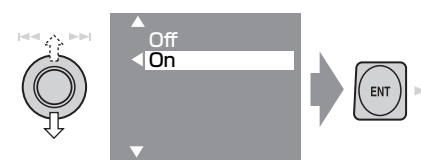
### お知らせ

31局目の放送局や31枚目の音楽CDに名前を付けようとすると「NAME FULL」と表示され、登録できません(⇒70ページ)。

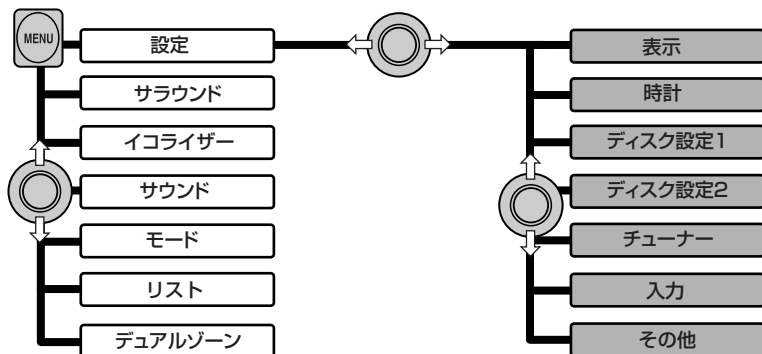
# メニューでいろいろな設定をする



## 例:「ハイパスフィルター」を設定する

























- 1
 
  - 選択中のソース(音源)や本機の状態によって使用できない項目(灰色表示)があります。
- 2
 
- 3
 
  - 詳細設定がある場合は、この手順をくり返します。
- 4
 

## メニューの階層

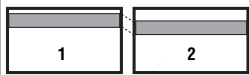
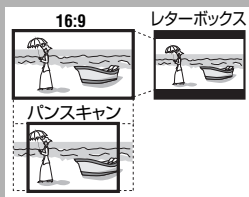








メニュー項目	設定値（下線は初期値を示す）
デモ	<p><b>Off:</b> この機能を使わないとき。</p> <p><b>On:</b> デモ表示を始めます。</p>
背景	<p>モニター画面の背景を選びます。</p> <p><u>スタンダード</u>、<u>レッドライン</u>、<u>海</u>、<u>グリーン</u>、<u>オレンジ</u>、<u>レッド</u>、<u>ブラウン</u>、<u>グレー</u></p>
レベルメーター	<p>音量レベルメーターの表示パターンを選びます。</p> <p><u>メーター1</u>、<u>メーター2</u>、<u>メーター3</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DISPボタンをくり返し押すと、モニター画面に表示されます。</li> </ul>
文字スクロール	<p><b>Off:</b> この機能を使わないとき。</p> <p><u>一回:</u> 文字情報が一度に表示しきれないときに、1回スクロール表示します。</p> <p><b>自動繰り返し:</b> 文字情報が一度に表示しきれないときに、一定間隔でスクロールして表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DISPボタンを1秒以上押し続けると、この設定に関わらず、1回スクロール表示します。</li> </ul>
タグ表示	<p><b>Off:</b> この機能を使わないとき。</p> <p><b>On:</b> MP3/WMA/WAVトラックのタグ情報を表示します。</p>
ディマー	<p>夜間、モニター画面が明る過ぎるときに使います。</p> <p><b>Off:</b> この機能を使わないとき。</p> <p><b>On:</b> 常に暗くなります。</p> <p><b>ライト連動:</b> 車両のライトの「On/Off」に連動して明るさが変わります（本機のイルミネーションコントロールコードを車両のイルミ電源に接続しておきます）。</p> <p><b>タイムコントロール:</b> タイマーでOn/Offする時間を設定します。</p>
ディマーレベル	<p>ディマーのレベル(明るさ)をあらかじめ設定しておきます。</p> <p><b>00(明るい)~10(暗い); 初期値: 05</b></p>

メニュー項目	設定値（下線は初期値を示す）																	
明るさ	ソース(音源)情報画面とメニュー画面の明るさを調節します。 <b>-15</b> (暗い) ~ <b>+15</b> (明るい); 初期値: <b><u>00</u></b>																	
映像調節 *1	再生中の映像が見にくいときに調節します。 「DISC」、「AV-IN」や「TV」のそれぞれのソース(音源)に対して記憶(メモリー)されます。 <b>-15 ~ +15</b> ; 初期値: <b><u>00</u></b> <b>明るさ(Bright):</b> 映像が明るすぎたり、暗すぎたりするときに調節します。 <b>コントラスト(Contrast):</b> コントラストを調節します。 <b>色の濃さ(Color):</b> 映像の色の濃さを(明るくしたり、暗くしたり)調節します。 <b>色合い(Tint):</b> 人間の肌の色がより自然に見えるように調節します。																	
画面サイズ *1	映像のアスペクト(画面サイズ)比を変更します。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4:3の信号</th> <th>16:9の信号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>ノーマル:</b> (4:3のオリジナル映像)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>フル:</b> (16:9のオリジナル映像)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>ジャスト:</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>ズーム:</b></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>オート:</b></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DVDを再生中:</b> アスペクト比は信号にあわせて、自動的に変わります。</li> <li>• <b>他のディスクや他のソース(音源)のとき:</b>アスペクト比は「ノーマル」に固定されます。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		4:3の信号	16:9の信号	<b>ノーマル:</b> (4:3のオリジナル映像)			<b>フル:</b> (16:9のオリジナル映像)			<b>ジャスト:</b>			<b>ズーム:</b>			<b>オート:</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DVDを再生中:</b> アスペクト比は信号にあわせて、自動的に変わります。</li> <li>• <b>他のディスクや他のソース(音源)のとき:</b>アスペクト比は「ノーマル」に固定されます。</li> </ul>
	4:3の信号	16:9の信号																
<b>ノーマル:</b> (4:3のオリジナル映像)																		
<b>フル:</b> (16:9のオリジナル映像)																		
<b>ジャスト:</b>																		
<b>ズーム:</b>																		
<b>オート:</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>DVDを再生中:</b> アスペクト比は信号にあわせて、自動的に変わります。</li> <li>• <b>他のディスクや他のソース(音源)のとき:</b>アスペクト比は「ノーマル」に固定されます。</li> </ul>																	

	メニュー項目	設定値（下線は初期値を示す）
設定 ↓ 時計	時間設定	[⇒12ページ] 初期値： <u>1:00 AM</u>
	12時間/24時間	<u>12時間表示</u> 、24時間表示 [⇒13ページ]
設定 ↓ ディスク設定 1	メニュー言語	ディスクメニューを表示する言語を選びます。 初期値： <u>日本語</u> （言語コード一覧表⇒57ページ）
	音声言語	再生時の音声言語を選びます。 初期値： <u>英語</u> （言語コード一覧表⇒57ページ）
	字幕言語	字幕の言語を選びます、また字幕を表示しないようにもできます（「Off」）。 初期値： <u>日本語</u> （言語コード一覧表⇒57ページ）
	画面表示言語	VIDEO OUT端子に接続された外部モニターに表示するメッセージの言語を選びます。 初期値： <u>日本語</u>
	モニタータイプ	外部モニターで16:9ワイド映像を見るとき画面比を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>16:9</u>：外部モニターが16:9ワイド画面のとき選びます。</li> <li>• <u>レターボックス/パンスキャン</u>：外部モニターが従来型の4:3画面のとき選びます。</li> <li>• 各モードでの映像の見えかたは左図のようになります。</li> </ul>
	オンスクリーン表示位置	メニューバーの表示位置を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>1</u>：画面上部</li> <li>• <u>2</u>：やや中央より。</li> </ul>
	ファイルタイプ	異なった形式のファイルが同じディスクやSDカードに収録されているときに、どのファイルを再生するかを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>オーディオ</u>：音楽ファイルを再生します。</li> <li>• <u>静止画</u>：JPEGファイルを再生します。</li> <li>• <u>ビデオ</u>：DivX/MPEGファイルを再生します（SDカード時を除く）。</li> </ul>





\*2 ソース(音源)が「DISC」が「SD」のとき、かつ停止中の中のみ選べます。

	メニュー項目	設定値（下線は初期値を示す）
設定 ↓ ディスク設定1 *2	DivX(R)認証コード	本機のDVDプレーヤーには固有の登録コードがあります。必要があるときに登録コードを確認することができます。著作権保護のため、登録コードが記録されたディスクを再生すると、本機のDVDプレーヤーの登録コードが上書きされます。
	D(Dynamic)レンジコントロール *2	ドルビーデジタルのDVDディスクを再生時に、低音量でも迫力のある音声をお楽しみいただけます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>オート</b>：マルチチャンネル音声信号のディスク再生時のみ働きます。</li> <li>• <b>On</b>：すべてのディスクに対して働きます。</li> </ul>
設定 ↓ ディスク設定2 *3	スピーカーサイズ *2 スピーカーを選ぶ  設定/調節する 	スピーカーのサイズや接続/未接続の設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>フロント</b>: <u>小</u>、<b>大</b></li> <li>• <b>センター</b>: <u>なし</u>、<u>小</u>、<u>大</u></li> <li>• <b>リア</b>: <u>なし</u>、<u>小</u>、<u>大</u></li> <li>• <b>サブウーハー</b>: <u>あり</u>、<u>なし</u></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 設定の目安として、スピーカーユニットの直径が13cm以上の場合は「<b>大</b>」、13cm未満の場合は「<b>小</b>」を選んでください。</li> </ul>
	スピーカーレベル スピーカーを選ぶ  設定/調節する 	スピーカーの出力レベルの設定をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>フロント左/センター/フロント右/リア右/サブウーハー</b> *4/リア左: <u>-10dB</u>~<u>+10dB</u>の範囲で調節します。 初期値: <u>00</u></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ENT</b>ボタンを1秒以上押し続けると、テストトーンが各スピーカーから順に出力されます。テストトーンを聞きながら調節します。テストトーンを止めるには、もう一度<b>ENT</b>ボタンを1秒以上押ししてください。</li> </ul>

\*2 ソース(音源)が「DISC」が「SD」のとき、かつ停止中にのみ選べます。


\*3 ソース(音源)が「DISC」が「SD」のときのみ選べます。

\*4 このサブウーハーのレベル設定は、サラウンド再生時のみ働きます(➡55ページ)。

	メニュー項目	設定値 (下線は初期値を示す)
設定 ↓ ディスク設定2 *3	<b>スピーカー距離</b> *5 <b>スピーカーを選ぶ</b>  <b>設定/調節する</b> 	<p>リスニング位置と各スピーカーの距離を設定することにより、各スピーカーの音声出力の遅延時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>フロント左/センター/フロント右/リア右/リア左:</b> 15cm～600cmの範囲で15cm単位で調節します。 初期値: <u>120cm</u>(センタースピーカー)、<u>150cm</u>(その他のスピーカー)</li> <li>• <b>DISP</b>ボタンを1秒以上押し続けると、単位が「inch(インチ)」に切り換わります。「cm(センチメートル)」に戻すには、もう一度<b>DISP</b>ボタンを1秒以上押ししてください。</li> </ul>
設定 ↓ チューナー	<b>受信地域</b>  <b>FM IFフィルター</b>	<p>お住まいの地域を設定します。受信時にその地域の放送局名(⇒58ページ)が表示されるようになります。</p> <p><b>エリア無し、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄</b></p> <p>FM放送受信時に、隣接電波の影響などを軽減します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>自動切換</b>：隣接電波を検知した場合、IFフィルターの帯域幅を自動的に狭くし、隣接電波の影響を軽減します(モノラル受信になります)。</li> <li>• <b>ワイド</b>：IFフィルターを広い帯域幅に固定します。</li> </ul>
設定 ↓ 入力	<b>AV入力</b>	<p>LINE IN/VIDEO IN端子の使いかたを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Off</b>：なにも接続しないとき。ソース(音源)として「AUX-IN」は選べなくなります。</li> <li>• <b>音声&amp;映像</b>：ビデオデッキなどの映像機器を接続したとき。</li> <li>• <b>音声</b>：ポータブルMDプレーヤーなどの音声機器を接続したとき。</li> <li>• <b>カメラ通常</b> *6：リアビューカメラを接続したとき。</li> <li>• <b>カメラ反転</b> *6：リアビューカメラを接続したとき。カメラの映像は左右反転して表示されます。</li> </ul>

\*5 センタースピーカーとリアスピーカーがすべて「なし」に設定されている(⇒52ページ)ときは、調節できません。

\*6 車両のギアをバックにすると、リアビューカメラからの映像がモニターに映ります(リバースギアシグナルコードの接続が必要です⇒別紙「取付説明書」)。カメラからの映像はつねに「フル」画面で表示されます。

	メニュー項目	設定値（下線は初期値を示す）
設定 ↓ 入力	外部入力 *7	<p>背面のCDチェンジャー端子に接続した機器にあわせて切り換えます。</p> <p><b>チェンジャー/iPod/D. PLAYER</b> *8: CDチェンジャー、iPod、ビクター製のD.PLAYERを接続したとき。</p> <p><b>外部入力:</b> 上記以外の機器を接続したとき（接続には、別売りのアダプターKS-U57やKS-U58が必要になります）。</p>
	ピーブ音	<p><b>Off:</b> この機能を使わないとき。</p> <p><b>On:</b> キータッチ音や警告音を鳴らします。</p>
設定 ↓ その他	ミュートイング	<p>市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時や音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音（ミュートイング）することができます。</p> <p><b>Off:</b> この機能を使わないとき。 または、「設定1/設定2」ともに正しく動作しないときに、選びます。</p> <p><b>設定1:</b> ミュートイングコード(茶)を接続した後、通常はこの位置で使います。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。</p> <p><b>設定2:</b> 「設定1」では正しく動作しないときに、選びます。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。</p>
	パワーフラッシュ	<p><b>Off:</b> この機能を使わないとき。</p> <p><b>On:</b> エンジンを切ったときに、/I/ATT(電源)ボタンのランプが点滅します。</p>
	サラウンドOff	サラウンドを「切」にするとき。[→28ページ]
サラウンド *9	サラウンドOn	<p>サラウンドを「入」にするとき。[→28ページ]</p> <p><b>自動</b>、Dolby PLII Movie、Dolby PLII Music</p> <p>・「Dolby PL II Music」を選んだときは、「Panorama」と「Center Width」の設定もしてください。</p>

\*7 接続した機器がソース(音源)として選ばれているときには、設定できません。

\*8 接続されている機器を検知して、その機器名だけを表示します。

\*9 ソース(音源)が「DISC」が「SD」のときのみ選べます。

	メニュー項目	設定値（下線は初期値を示す）
イコライザー *10	Flat/Hard Rock/R&B/ Pop/Jazz/Dance/ Country/Reggae/ Classic/User 1/ User 2/User 3	[→46ページ]
	フェーダー/バランス	<b>フェーダー:</b> 4スピーカー接続のときに、前後のスピーカーの音の出力バランスを調節します。2スピーカー接続のときは <b>中央</b> にしておきます。 <b>バランス:</b> 左右のスピーカーの音の出力バランスを調節します。
サウンド ト	ボリューム調節	各ソース(音源)ごとの音量の自動調節レベルを設定します。FM放送の音声レベルと同じになるように調節してください。 一度調節すると、次にその同じソース(音源)を選んだときに、音量が自動で調節されます。 <b>-12~+12; 初期値: 00</b>  • FM 放送受信中は「Fix」と表示され、調節できません。
	サブウーハー	サブウーハーの設定をします。 • <b>位相:</b> 位相を選びます。「 <b>同相</b> 、 <b>逆相</b> 」どちらか音の良い方を選びます。 • <b>レベル</b> *11: 出力レベルを設定します。 <b>-6~+8; 初期値: 0</b>
	ハイパスフィルター	<b>Off:</b> サブウーハーを使用していないとき。 <b>On:</b> サブウーハーを使用しているとき。
	クロスオーバー	フロントスピーカー/リアスピーカーとサブウーハー間のクロスオーバー周波数を設定します。 <b>80Hz、120Hz、150Hz</b>  • 設定値より低い音はサブウーハーから出力されます。サブウーハー未接続時は、「大」に設定されたスピーカーから出力されます。

\*10 サラウンド再生時は使えません。

\*11 このサブウーハーのレベル設定は、サラウンド再生時は働きません(→52ページ)。

	メニュー項目	設定値（下線は初期値を示す）
サウンド	アンプゲイン	本機の最大出力レベルを設定します。スピーカーの最大入力50W以下のときは、スピーカーの破損を防ぐために「 <b>最大音量 30</b> 」を選びます。 <b>Off:</b> 外部アンプを接続しているとき。内蔵アンプへは電源が供給されません。 <b>最大音量 30:</b> スピーカーの出力レベルが50Wよりも小さいとき。音量はVOL00～30の範囲で調節できます。 <b>最大音量 50:</b> スピーカーの出力レベルが50Wよりも大きいとき。音量はVOL00～50の範囲で調節できます。
	リアスピーカー *12	デュアルゾーンを使用時のリアスピーカーの音声出力を「入/切」します。 <b>Off, On</b>
モード *13	モノラル	FM放送受信時 [➡14ページ]
	サーチ感度	FM放送受信時 [➡15ページ]
	SSM	FM/AM放送受信時 [➡15ページ]
	タイトル入力	FM/AM放送受信時、音楽CD再生時(チェンジャー再生時も含む)、TV放送受信時、「AV-IN」「EXT-IN」選択時 [➡47ページ]
	Off/イントロ/リピート/ランダム	ディスク/SDカード/チェンジャー再生時/iPod、D.PLAYER再生時 [➡23、37、39、44ページ]
	主音声/副音声	TV放送受信時 [➡42ページ]
	オンスクリーン	TV放送受信時 [➡42ページ]
	自動チャンネル設定	TV放送受信時 [➡40ページ]
リスト	ソース(音源)によって、表示されるリストは異なります。	
デュアルゾーン	<b>Off, On/ノーマル, On/サラウンド</b> [➡32ページ]	

\*12 デュアルゾーン使用時に限り機能します。

\*13 表示される項目はソース(音源)によって異なります。



## 言語コード一覧表

コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アフアル語	IN	インドネシア語	RW	キニヤルワンダ語
AB	アブバジア語	IS	アイスランド語	SA	サンスクリット語
AF	アフリカーンス語	IW	ヘブライ語	SD	シンド語
AM	アムハラ語	JI	イディッシュ語	SG	サンド語
AR	アラビア語	JW	ジャワ語	SH	セルボアクロアチア語
AS	アッサム語	KA	グルジア語	SI	シンハラ語
AY	アイマラ語	KK	カザフ語	SK	スロバキア語
AZ	アゼルバイジャン語	KL	グリーンランド語	SL	スロベニア語
BA	バンキール語	KM	カンボジア語	SM	サモア語
BE	ベラルーシ語	KN	カンナダ語	SN	ショナ語
BG	ブルガリア語	KO	韓国(朝鮮)語	SO	ソマリ語
BH	ビハーリー語	KS	カシミール語	SQ	アルバニア語
BI	ビスラマ語	KU	クルド語	SR	セルビア語
BN	ベンガル語、バングラ語	KY	キルギス語	SS	シスワティ語
BO	チベット語	LA	ラテン語	ST	セストゥ語
BR	ブルトン語	LN	リンガラ語	SU	スンダ語
CA	カタロニア語	LO	ラオス語	SW	スワヒリ語
CO	コルシカ語	LT	リトアニア語	TA	タミール語
CS	チェコ語	LV	ラトビア語、レット語	TE	テルグ語
CY	ウェールズ語	MG	マダガスカル語	TG	タジク語
DZ	ブータン語	MI	マオリ語	TH	タイ語
EL	ギリシャ語	MK	マケドニア語	TI	ティグリニャ語
EO	エスペラント語	ML	マラヤーラム語	TK	トゥルクメン語
ET	エストニア語	MN	モンゴル語	TL	タガログ語
EU	バスク語	MO	モルダビア語	TN	セツワナ語
FA	ペルシャ語	MR	マラータ語	TO	トンガ語
FI	フィンランド語	MS	マライ(マレー)語	TR	トルコ語
FJ	フィジー語	MT	マルタ語	TS	ツォンガ語
FO	フェロー語	MY	ミャンマー語	TT	タタール語
FY	フリジア語	NA	ナウル語	TW	トウィ語
GA	アイルランド語	NE	ネパール語	UK	ウクライナ語
GD	スコットランドゲール語	NO	ノルウェー語	UR	ウルドゥー語
GL	ガルシア語	OC	プロバンス語	UZ	ウズベク語
GN	グアラニ語	OM	(アフォン) オロモ語	VI	ベトナム語
GU	グジャラード語	OR	オリヤー語	VO	ウラビュク語
HA	ハウサ語	PA	パンジャブ語	WO	ウォロフ語
HI	ヒンディー語	PL	ポーランド語	XH	コーサ語
HR	クロアチア語	PS	パシュトー語	YO	ヨルバ語
HU	ハンガリー語	PT	ポルトガル語	ZU	ズール語
HY	アルメニア語	QU	ケチュア語		
IA	国際語	RM	ラエティ-ロマン語		
IE	国際語	RN	キルンディ語		
IK	イヌピック語	RO	ルーマニア語		

プリセット放送局名(FM/AM)一覧表

	放送局名	場所	周波数		放送局名	場所	周波数
北海道 (FM)	AIR-G'	札幌	80.4MHz	東 北 地 方 (FM)	FM岩手	盛岡	76.1MHz
	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz		Date FM	仙台	77.1MHz
	NHK-FM	〃	85.2MHz		エフエム青森	青森	80.0MHz
	〃	旭川	85.8MHz		FM山形	山形	80.4MHz
	〃	北見	86.0MHz		ふくしまFM	郡山	81.8MHz
	〃	函館	87.0MHz		NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	帯広	87.5MHz		〃	仙台	82.5MHz
北海道 (AM)	〃	室蘭	88.0MHz	FM秋田	秋田	82.8MHz	
	〃	釧路	88.5MHz	NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
	NHK第1	札幌	567kHz	〃	福島	85.3MHz	
	〃	釧路	585kHz	〃	青森	86.0MHz	
	〃	帯広	603kHz	〃	秋田	86.7MHz	
	〃	旭川	621kHz	NHK第1	盛岡	531kHz	
	STVラジオ	函館	639kHz	〃	山形	540kHz	
	NHK第1	〃	675kHz	IBC岩手放送	盛岡	684kHz	
	NHK第2	北見	702kHz	NHK第2	秋田	774kHz	
	〃	札幌	747kHz	NHK第1	仙台	891kHz	
	HBCラジオ	旭川	864kHz	山形放送	山形	918kHz	
	〃	室蘭	864kHz	秋田放送	秋田	936kHz	
	STVラジオ	釧路	882kHz	NHK第1	青森	963kHz	
	HBCラジオ	函館	900kHz	NHK第2	仙台	1,089kHz	
	STVラジオ	網走	909kHz	青森放送	青森	1,233kHz	
	NHK第1	室蘭	945kHz	東北放送	仙台	1,260kHz	
	STVラジオ	帯広	1,071kHz	NHK第1	福島	1,323kHz	
	NHK第2	室蘭	1,125kHz	NHK第2	盛岡	1,386kHz	
	〃	帯広	1,125kHz	ラジオ福島	福島	1,458kHz	
	〃	釧路	1,152kHz	NHK第1	秋田	1,503kHz	
NHK第1	北見	1,188kHz	NHK第2	山形	1,521kHz		
STVラジオ	旭川	1,197kHz	AFN	三沢	1,575kHz		
HBCラジオ	帯広	1,269kHz	NHK第2	福島	1,602kHz		
〃	札幌	1,287kHz	インターネット FM	東京	76.1MHz		
〃	稚内	1,368kHz	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz		
〃	釧路	1,404kHz	放送大学	東京	77.1MHz		
STVラジオ	札幌	1,440kHz	BAY-FM	船橋	78.0MHz		
HBCラジオ	網走	1,449kHz	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz		
NHK第2	函館	1,467kHz	放送大学	前橋	78.8MHz		
HBCラジオ	名寄	1,494kHz	NACK 5	さいたま	79.5MHz		
NHK第2	旭川	1,602kHz	TOKYO FM	東京	80.0MHz		
			NHK-FM	宇都宮	80.3MHz		
			〃	千葉	80.7MHz		

	放送局名	場所	周波数
関東地方 (FM)	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	〃	横浜	81.9MHz
	〃	東京	82.5MHz
	〃	水戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
関東地方 (AM)	NHK-FM FM群馬	さいたま 前橋	85.1MHz 86.3MHz
	NHK第1	東京	594kHz
	NHK第2	〃	693kHz
	AFN	〃	810kHz
	TBSラジオ	〃	954kHz
	文化放送	〃	1,134kHz
	茨城放送	水戸	1,197kHz
	ニッポン放送	東京	1,242kHz
	ラジオ日本	横浜	1,422kHz
	栃木放送	宇都宮	1,530kHz
中部地方 (FM)	FM福井	福井	76.1MHz
	FM新潟	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	FM Port	新潟	79.0MHz
	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO - i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	高山	80.0MHz
	FM石川	金沢	80.5MHz
	FM AICHI	名古屋	80.7MHz
	NHK-FM	富山	81.5MHz
	〃	金沢	82.2MHz
	〃	新潟	82.3MHz
	〃	名古屋	82.5MHz
	FMとやま	富山	82.7MHz
FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz	
中部地方 (FM)	NHK-FM	福井	83.4MHz
	〃	岐阜	83.6MHz
	〃	長野	84.0MHz
	〃	甲府	85.6MHz
	〃	静岡	88.8MHz

	放送局名	場所	周波数
中部地方 (AM)	NHK第2	静岡	639kHz
	NHK第1	富山	648kHz
	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	富山	738kHz
	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	長野	819kHz
	〃	新潟	837kHz
	福井放送	福井	864kHz
	NHK第1	静岡	882kHz
	NHK第2	名古屋	909kHz
近畿地方 (FM)	NHK第1	福井	927kHz
	〃	甲府	927kHz
	NHK第2	富山	1,035kHz
	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	長野	1,098kHz
	北陸放送	金沢	1,107kHz
	新潟放送	新潟	1,116kHz
	NHK第1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	金沢	1,386kHz
近畿地方 (FM)	静岡放送	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	長野	1,467kHz
	〃	福井	1,521kHz
	〃	新潟	1,593kHz
	〃	甲府	1,602kHz
	FM CO・CO・LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	姫路	77.6MHz
	FM三重	津	78.9MHz
	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	京都	82.8MHz
	〃	大津	84.0MHz
	〃	和歌山	84.7MHz
fm osaka	大阪	85.1MHz	
近畿地方 (FM)	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	〃	奈良	87.4MHz
	〃	大阪	88.1MHz
	α-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	神戸	89.9MHz

	放送局名	場所	周波数
近畿地方 (AM)	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	京都	621kHz
	〃	大阪	666kHz
	NHK第2	〃	828kHz
	ABCラジオ	〃	1,008kHz
中国地方 (AM)	KBS京都	京都	1,143kHz
	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	〃	1,314kHz
中国地方 (FM)	和歌山放送	和歌山	1,431kHz
	FM岡山	岡山	76.8MHz
	エフエム山陰	松江	77.4MHz
	広島FM	広島	78.2MHz
	FM山口	山口	79.2MHz
	NHK-FM	松江	84.5MHz
	〃	山口	85.3MHz
	〃	鳥取	85.8MHz
	エフエム山陰	浜田	86.6MHz
	NHK-FM	広島	88.3MHz
中国地方 (AM)	〃	岡山	88.7MHz
	NHK第1	〃	603kHz
	〃	山口	675kHz
	NHK第2	広島	702kHz
	山口放送	周南	765kHz
	山陰放送	米子	900kHz
	NHK第1	下関	1,026kHz
	〃	広島	1,071kHz
	NHK第2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	松江	1,296kHz
	中国放送	広島	1,350kHz
	NHK第1	鳥取	1,368kHz
	NHK第2	山口	1,377kHz
〃	岡山	1,386kHz	
山陽放送	〃	1,494kHz	
AFN	岩国	1,575kHz	
NHK第2	松江	1,593kHz	
四国地方 (FM)	FM香川	高松	78.6MHz
	FM愛媛	松山	79.7MHz
	FM徳島	徳島	80.7MHz
	FM高知	高知	81.6MHz
	NHK-FM	徳島	83.4MHz

	放送局名	場所	周波数	
四国地方 (FM)	NHK-FM	高松	86.0MHz	
	〃	高知	87.5MHz	
	〃	松山	87.7MHz	
四国地方 (AM)	高知放送	高知	900kHz	
	NHK第1	徳島	945kHz	
	〃	松山	963kHz	
	〃	高知	990kHz	
	NHK第2	高松	1,035kHz	
	南海放送	松山	1,116kHz	
	NHK第2	高知	1,152kHz	
	四国放送	徳島	1,269kHz	
	NHK第1	高松	1,368kHz	
	西日本放送	〃	1,449kHz	
九州地方 (FM)	NHK第2	松山	1,512kHz	
	Love FM	福岡	76.1MHz	
	FM中九州	熊本	77.4MHz	
	FM佐賀	佐賀	77.9MHz	
	CROSS FM	福岡	78.7MHz	
	SMILE-FM	長崎	79.5MHz	
	FM鹿児島	鹿児島	79.8MHz	
	FM福岡	福岡	80.7MHz	
	NHK-FM	佐賀	81.6MHz	
	FM宮崎	宮崎	83.2MHz	
	NHK-FM	長崎	84.5MHz	
	〃	福岡	84.8MHz	
	〃	熊本	85.4MHz	
九州地方 (AM)	〃	鹿児島	85.6MHz	
	〃	北九州	85.7MHz	
	〃	佐世保	86.0MHz	
	〃	宮崎	86.2MHz	
	FM大分	大分	88.0MHz	
	NHK-FM	〃	88.9MHz	
	九州地方 (AM)	NHK第1	宮崎	540kHz
		〃	鹿児島	576kHz
		〃	福岡	612kHz
		〃	大分	639kHz
〃		長崎	684kHz	
〃		熊本	756kHz	
NHK第2		〃	873kHz	

	放送局名	場所	周波数
九州地方 (AM)	宮崎放送	宮崎	936kHz
	NHK第1	佐賀	963kHz
	NHK第2	福岡	1,017kHz
	大分放送	大分	1,098kHz
	南日本放送	大分	1,107kHz
	熊本放送	熊本	1,197kHz
	長崎放送	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	長崎	1,377kHz
	〃	鹿児島	1,386kHz
KBCラジオ	福岡	1,413kHz	
	NHK第2	大分	1,467kHz
	〃	宮崎	1,467kHz
	AFN	佐世保	1,575kHz
沖縄 (FM)	FM 沖縄	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN 沖縄	〃	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	沖縄	549kHz
	AFN	〃	648kHz
	琉球放送	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	〃	864kHz
	NHK第2	〃	1,125kHz

## テキスト入力文字一覧表

ご自分で、放送局名やディスク名を入力するときは、次の文字セットがお使いになれます。

- テレビ放送局に名前を登録するときは、記号はお使いになれません。

### ●英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

### ●英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

### ●数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

### ●カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
-	.	'	(空白)						

## お知らせ

自分で付けた放送局名をプリセットの放送局名に戻すときは、登録した名前を先にすべて消去してから、「受信地域」(→53ページ)の設定を実行します。

# 知っていると便利なこと

## 共通操作について

- 本モニターで映像を見ているときに、アスペクト比を「ジャスト」に設定していた場合、画面の中央部分の映像が歪んで見えることがあります。これは「ジャスト」の設定が、映像を水平方向に引き延ばして表示しているためで、故障ではありません。そのときは画面サイズを変更してご覧ください。

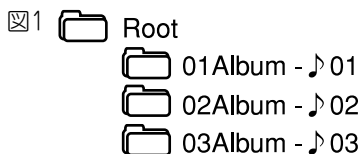
## ディスク操作について

- 本取扱説明書内では、「トラック」と「ファイル」という単語は、同じ意味で使われています。
- ディスクを取り出すときに、そのままディスクを放置すると、約15秒後にディスクは本体内に收容されます。これはディスクをほこりやゴミなどの付着を防止するためで、再生は開始しません。
- デュアルゾーン時以外のときに、ソース(音源)を他のソースに変えると、再生は停止します。次に、また「DISC」を選ぶと、前回停止されたところから再生が始まります。

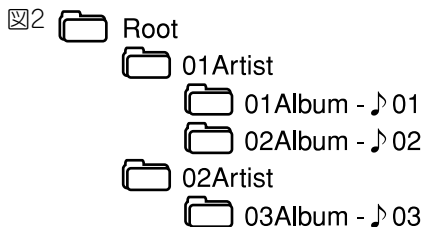
## 記録型ディスク(DVD-R/-RWやCD-R/RWなど)

- 記録型ディスクに音楽CDファイル(CD-DA)と他の異なった形式のファイルが収録されているときは、本機は音楽CDファイルのみを再生します。
- 認識できるフォルダ総数は最大で250、ファイル総数は3500です(同一フォルダ内では、999ファイルまで認識します)。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生できますが、セッションクローズ処理をされていないセッションは飛ばして再生されます。

- フォルダ名は半角25文字目、全角12文字目まで表示されます。
- MP3/WMA/WAV/DivX/MPEGのファイル名は、半角20文字目、全角10文字目まで表示されます(拡張子を除く)。それ以降の文字は~(チルダ)で省略されて表示されます。
- JPEGのファイル名は、半角19文字目、全角9文字目まで表示されます。それ以降は~(チルダ)で省略されて表示されます。
- 図1のようにアルバム名のフォルダにファイルを入れることでアルバムの名前順に再生することができます。



- 図2のようにアルバム名のフォルダをアーティスト名のフォルダにまとめることでアーティストの名前順に再生します。アーティスト名のフォルダに含まれるアルバム名のフォルダを名前順に全て再生してから次のアーティスト名のフォルダを再生します。(本機のプレイリストやフォルダリストでフォルダを選択するときは、再生ファイルの含まれているフォルダで選択します。この図の場合、アルバム名のフォルダで選択します。)



## DivXファイルについて

- 拡張子<.divx>、<.div>、<.avi>は必ず半角で入力してください。大文字、小文字は問いません。

- 再生できるDivXファイルの解像度は次の通りです。  
30フレーム：352 x 240, 352 x 480, 480 x 480, 720 x 480  
25フレーム：352 x 288, 352 x 576, 480 x 576, 720 x 576
- 次のバージョンのDivXファイルを再生できます—DivX 6.x, 5.x, 4.x, 3.11。
- オーディオストリーム(音声符号化方式)はMP3とドルビーデジタル(AC3)に対応しています。
- GMC(Global Motion Compression)には対応していません。
- インターレース走査方式でエンコードされたファイルは正しく再生できないことがあります。

## MPEGファイルについて

- 拡張子<.mpg>、<.mpeg>は必ず半角で入力してください。大文字、小文字は問いません。
- 次のプロファイルとレベルに対応しています。  
MP@ML(Main Profile at Main Level)  
SP@ML(Simple Profile at Main Level)  
MP@LL(Main Profile at Low Level)
- ストリーム構造はMPEGシステムストリーム規格またはMPEGプログラムストリームに対応しています。
- オーディオストリーム(音声符号化方式)はMPEG1レイヤー2に対応しています。

## JPEGファイルについて

- 拡張子<.jpg>、<.jpeg>は必ず半角で入力してください。大文字、小文字は問いません。
- ファイルを記録するときは、解像度を640 x 480(推奨)に設定してください。

- デジタルカメラの写真などで使われているベースライン方式のJPEGファイルにのみ対応しています。プログレッシブJPEGやロスレスJPEGには対応していません。

## MP3/WMA/WAVファイルについて

- 拡張子<.mp3>、<.wma>、<.wav>は必ず半角で入力してください。大文字、小文字は問いません。
- ファイルを作成するときは、次のような設定でエンコードしてください。
  - 転送ビットレート：  
MP3/WMA：32kbps～320kbps  
(推奨：128kbps)
  - サンプリング周波数：  
MPEG1：48kHz, 44.1kHz, 32kHz  
MPEG2：24kHz, 22.05kHz, 16kHz  
WMA：48kHz, 44.1kHz, 32kHz  
WAV：44.1kHz
- 可変ビットレート(VBR)でエンコードされたディスクも再生できますが、再生経過時間に誤差が生じることがあります。
- 次のファイルには対応していません。
  - MP3i(Interactive)、MP3PRO
  - レイヤー1/2でエンコードされたMP3
  - ロスレス、プロフェッショナル、ボイス形式でエンコードされたWMA
  - WMA-DRM

## サラウンド操作/設定について

- センタースピーカーが「なし」のときは、ドルビープロロジックIIミュージックの「Center Width」は調節できません。
- 「サラウンドOn」のときは、マルチチャンネルでエンコードされているディスクを再生すると、「サラウンドOn」で設定した項目に関わらず、「MULTI」サラウンドで再生されます。

- 次のディスクを再生するときは、サラウンドは使えません。「**サラウンドOn**」のときにこれらのディスクを再生すると、「**FRONT 2CH**」と表示され、フロントスピーカーからのみの音声出力になります。
  - MPEGマルチチャンネルのDVDビデオ
  - 2チャンネルのDivXとMPEGディスク
- 「**サラウンドOn**」で「**自動**」が設定されているときに、次のディスクを再生すると、ステレオ再生になります(サブウーハーからは音は聞こえません)。
  - 2チャンネルのDVD、DTS-CD、DivX、MPEGディスク
- 「**Fix**」とソース(音源)情報画面に表示されたときは、サブウーハーからは音は聞こえません。
- フロントスピーカーとリアスピーカーがともに「**大**」に設定されていると、ドルビープロロジックII再生時には、サブウーハーからは音は聞こえません。
- サラウンド機能が働いていないときは、センタースピーカーからは音は聞こえません。

## 2つのソース(音源)を操作する

- 本体内蔵モニター上で「**DISC**」がソース(音源)として選ばれているときは、スピーカーからの音声にもヘッドホンサラウンドが働きます。
- デュアルモードが「**入**」のときは、ディスクを入れても、本体内蔵モニター側のソース(音源)は「**DISC**」には切り換わりません。

## SDカードについて

- ファイルはFAT 16/32の形式で記録してください。
- 記録容量が8MBから512MBのカードを使用してください。

- 半角65文字以上、全角33文字以上の名前の付いたフォルダやファイルは認識されません。上記以内のフォルダ名/ファイル名は、記録型ディスクの場合と同じように表示されます(➡62ページ)。

## iPod/D.PLAYERの操作について

- 接続後、本機の電源が「**入**」のときは、本機はiPodやD.PLAYERを充電します。
- 本機のモニターに表示できる文字情報は最大40文字です。

## 放送局や音楽CDに付ける名前について

- 本機で付けた音楽CDの名前は、本機での再生時に表示されます。また、本機に接続しているCDチェンジャーでの再生時にも表示されます。

## メニュー操作/設定について

- 音量がVOL30よりも大きいときに、「**アンブゲイン**」の設定を「**最大音量 30**」に変更すると、音量は自動的にVOL30になります。
- 「**メニュー言語**」、「**音声言語**」、「**字幕言語**」の変更は、一度電源を切り、ディスクを挿入しなおしたときに、有効になります。
- 4:3比の従来の映像を「**16:9**」で見ると、映像が左右に拡大されて表示されるため、画質が変わったように感じられることがあります。
- 「**パンスキャン**」を選んでいるときでも、再生するディスクによっては、「**レターボックス**」で表示される場合があります。
- 「**スピーカーサイズ**」の設定でセンタースピーカー、リアスピーカー、サブウーハーが「**なし**」に設定されているときは、サラウンドは「**サラウンドOff**」になり、設定・調節ができなくなります。



サウンド モード	初期設定値						
	60 Hz	150 Hz	400 Hz	1 kHz	2.5 kHz	6.3 kHz	15 kHz
Flat (フラット)	00	00	00	00	00	00	00
Hard Rock (ハードロック)	+03	+03	+01	00	00	+02	+01
R&B (リズム&ブルース)	+03	+02	+02	00	+01	+01	+03
Pop (ポップス)	00	+02	00	00	+01	+01	+02
Jazz (ジャズ)	+03	+02	+01	+01	+01	+03	+02
Dance (ダンス)	+04	+02	00	-02	-01	+01	+01
Country (カントリー)	+02	+01	00	00	00	+01	+02
Reggae (レゲエ)	+03	00	00	+01	+02	+02	+03
Classic (クラシック)	+02	+03	+01	00	00	+02	00
User 1/2/3 (ユーザー1/2/3)	00	00	00	00	00	00	00

### お知らせ

#### 本機背面の出力端子について

- **スピーカー出力/ライン出力(F-OUT/R-OUT/CENTER/SUBWOOFER)**: マルチチャンネル信号再生時はマルチチャンネル音声出力されます。デュアルゾーン機能を使っているときは、ソース(音源)で「DISC」を選ぶと、2nd AUDIO OUT端子からの出力と同じ信号が出力されます。
- **2nd AUDIO OUT**: デュアルゾーン機能を使っているときは、マルチチャンネル音声はダウンミックスして出力されます(DVDオーディオはダウンミックスされない場合があります)。

### お知らせ

本機からiPodやD.PLAYERが意図したように操作できないなどしたときは、次のURLへアクセスしてみてください。アダプターの最新情報(PDF)が入手できます。

- **iPodユーザーの方**:  
<http://www.jvc.co.jp/english/car/support/ks-pd100/index.html>
- **D.PLAYERユーザーの方**:  
<http://www.jvc.co.jp/english/car/support/ks-pd500/index.html>

# 故障かな？と思う前に —おや？故障かな？と思ったら… 修理を依頼される前にもう一度確かめください—

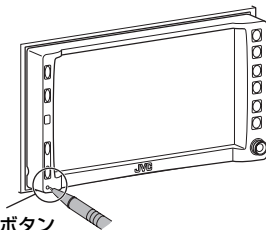
## 電源・映像・音声

### 症 状

### 原 因 ・ 処 置

どのボタンを操作しても正しく動作しない。

- ・ 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。  
→リセットボタンを押す。  
時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げ時の状態に戻ります。



電源を切っても「ATT」表示が点滅する。

- $\text{P}/\text{H}/\text{ATT}$ (電源)ボタンを2秒以上押す。

電源が入らない。

- ・ 電源(ACC・ライン)のコードが接続されていないため。
- ・ 車のエンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」のため。

映像が映らない。

- ・ ソース(音源)情報画面が表示されている。  
→DISPボタンを押す。
- ・ パーキングブレーキコードが正しく接続されていない。  
→別紙「取付説明書」を参照。

映像の左右が途切れている。

- ・ 「モニタータイプ」が「パンスキャン」になっている。  
→「レターボックス」を選ぶ。

映像が見にくい。

- ・ フロントガラスから差し込む明かりなどで、周囲が明るすぎる。  
→「映像調節」の「明るさ」と「コントラスト」を調節する(50ページ)。

センタースピーカーから音が聞こえない。

- ・ステレオ再生時は、センタースピーカーからは音は出ません。

ステレオ再生時にサブウーハーから音が聞こえない。

- ・「サラウンドOn」で「自動」に設定されている。  
→「サラウンドOff」を選ぶ(28、54ページ)。

## ラジオ放送(FM/AM)

放送がうまく受信できない。  
雑音が多くて聞きにくい。  
AMラジオが受信できない。

- ・アンテナの接続を確認する。またはアンテナが十分に伸びているか確認する。
- ・オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機のアンテナコントロール電源コード(青)を正しく接続する。
- ・車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている。  
→本機のアンテナコントロール電源コード(青)をこの端子に接続する。
- ・放送局の周波数に正しく合わせる。
- ・携帯電話などを本機から離す。

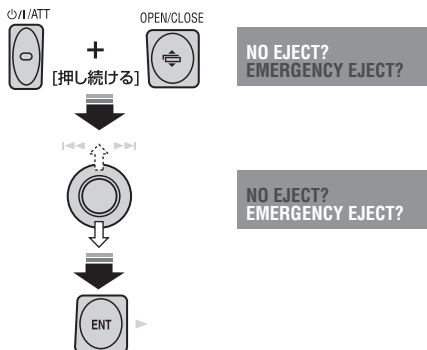
## ディスク再生

ディスクの取り出しができない。

- ・盗難防止になっている。  
→24ページ

ディスクを認識しない。  
ディスクの取り出しができない。

→以下の手順で強制的に取り出しができます。



ディスクを入れても音が出ない。

- 音量を適度に調節する。
- 内部のレンズが結露(つゆつき)している。  
→ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。
- CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。  
→デュアルディスクのCD面はCD規格(CD-DA)に準拠していないため、再生できないことがあります。

記録型ディスクの再生、トラックのスキップができない。

- ファイナライズ処理がされていないため。  
→ファイナライズ処理したディスクと交換する。または記録した機器でファイナライズ処理をする。

ディスクの出し入れのときに音が途切れる。

- この動作のときは、音声にミュートをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。

再生の途中でディスクが音飛びしたり、停止する。

- ディスクにラベルなどが張ってあるため。または、ディスクが反っているため。  
→このようなディスクは使用しない。

「音声言語」で設定したものと異なる言語で音声再生される。

- 設定した音声言語がディスクに収録されていない。
- ディスクによっては、再生開始時の音声言語があらかじめ決められているものがあります。  
→再生後に音声言語を切り換える(25、26ページ)。

「字幕言語」で設定したものと異なる言語で字幕再生される。

- 設定した字幕言語がディスクに収録されていない。
- ディスクによっては、再生開始時の字幕言語があらかじめ決められているものがあります。  
→再生後に字幕言語を切り換える(25、26ページ)。

家庭用DVDレコーダーで録画したDVD-RWが再生できない。

- VRモードで録画されている、またはファイナライズ処理がされていない。  
→ディスク(DVD-RW)はビデオモードでフォーマットしてください(詳しくは、DVDレコーダーの取扱説明書をご覧ください)。  
録画後、ディスクをファイナライズすれば、本機でも再生できるようになります。

## ディスク/SDカード再生

再生するとノイズが発生する。

- 再生できない記録形式のファイルが収録されている。  
➡再生できないファイルを飛ばして再生する。

データの読み込みに時間がかかる(「Now Reading」が点滅し続ける)。

- 使用するSDカードによっては読み込みに時間がかかることがあります。
- 階層を深くしたり、フォルダを多数作った場合、読み込みに時間がかかることがあります。
- 上記以外の条件で左記の状態になった場合は、一旦電源を「切」にしてから、再度電源を「入」にします。

## 外部機器

CDチェンジャーやTVチューナーユニットが動作しない。

- ➡CDチェンジャーやTVチューナーユニットをリセットし、その後で本機をリセットする。

iPod/D.PLAYERが動作しない。

- iPod/D.PLAYERの内蔵充電電池の残量がほとんどない。  
➡充電する。
- D.PLAYERの場合:ファームウェアのバージョンが古い。  
➡アップデートする。

音が歪む。

- iPod/D.PLAYERなど外部機器のイコライザーや音質調節機能が使われている。  
➡外部機器の音質調節機能を使わない。

iPodの再生が止まる。

- 再生中にヘッドホンを抜いた。  
➡もう一度、再生を始める。

iPod nanoからの音が再生されない。

- ヘッドホンをiPod nanoに差し込んだままになっていると、本機からは音は再生されません。  
➡ヘッドホンを抜く。

iPod/D.PLAYERを本機から外したら動作しなくなった。

- 故障ではありません。  
➡iPodやD.PLAYERをリセットすると、正しく動作するようになります。

## こんな表示が出たときは

表 示	原 因 ・ 処 置
Disconnect	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPod/D.PLAYERが正しく接続されていません。</li> <li>➔ 接続を確認して、コードをしっかりと接続する。</li> </ul>
Disc Error Please Eject	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディスクが裏返しになっているなど、正しく挿入されていません。</li> <li>➔ ディスクを正しく入れる。</li> </ul>
Disc No Files Please Eject	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生できるファイルが記録されていない。</li> <li>➔ 再生できるファイルを収録したディスクやSDカードを入れる。</li> </ul>
SD No Files Please Eject	
Eject Error	<ul style="list-style-type: none"> <li>➔ <b>SOURCE</b>ボタンを押し、ソース(音源)を切り換える。</li> </ul>
Loading Error	
ERROR 01	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ D.PLAYERが正しく接続されていない。</li> <li>➔ D.PLAYERとの接続を確認する。</li> </ul>
Mecha Error Push Reset	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内蔵のマイコンが誤動作している。</li> <li>➔ <b>リセット</b>ボタンを押す(66ページ)。</li> </ul>
NAME FULL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規定数以上の放送局やディスクに名前を付けようとしたため。</li> <li>➔ 不要な名前を削除してから、やり直す。</li> </ul>
No Disc	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CDチェンジャーでディスクが入っていないトレイを選んだため。</li> <li>・ ディスクが入っていないときに、デュアルゾーンをしようとしたため。</li> </ul>
No Files	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディスクに再生できるファイルが記録されていない。</li> <li>➔ ディスクを入れ換える、またはフォルダを変える。</li> </ul>

NO FILES	▶	• iPod/D.PLAYERに音楽ファイルが記録されていない。 →iPod/D.PLAYERに音楽ファイルを記録する。
NO TRACK	▶	
No Magazine	▶	• CDチェンジャーにマガジンが入っていない。 →マガジンを入れる。
No Signal	▶	• 「AV-IN」を選択中に、映像信号が検知されないため。 →外部機器の電源を入れる。
Not Support	▶	• 再生できないファイルが収録されていたため。そのファイルは飛ばして、次のファイルが再生されます。
Region Error Please Eject	▶	• DVDビデオのリージョン番号が「2」でない。 →ディスクを入れ換える。
RESET 01 ~ 08	▶	→外部機器(CDチェンジャー/iPod/D.PLAYER)との接続をやり直し、外部機器をリセットする。
Position Error Push Open Key	▶	• モニターの角度を手で調節するなどした。 →OPEN/CLOSEボタンを押す。
SD Error Please Eject	▶	• SDカードが正しくフォーマットされていない、またはSDカードが誤動作している。 →表示後、前のソース(音源)に戻ります。SDカードを交換する。
SD Loading Error	▶	• SDカードが完全に挿入されきっていない。 →SDカードを奥まで差し込む。

**お知らせ**

本機の故障や不具合により、利用の機会を逸したために発生した損害等の保証については、ご容赦ください。

# お手入れ

## ディスクのお手入れ

ディスクを挿入する前に、再生面についているほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふき取ってください。

必ず内側から外側にふいてください。



必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

- ・シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

## 本体の清掃

モニターパネルが汚れたら、必ず電源を「切」にしてから柔らかい布などでふきしてください。

モニターパネルをふくときは、爪でパネルに傷をつけないように注意してください。

### ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品や洗剤でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

## 商標と著作権

- ・ DivX, DivX Ultra Certified, および関連するロゴは、DivX, Inc.の商標です。これらの商標は DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。
- ・ DivX<sup>®</sup> Ultra Certified製品
- ・ DivX<sup>®</sup>メディアファイルとDivX Media Formatの高度な再生機能が付いているDivX<sup>®</sup>ビデオを再生(DivX<sup>®</sup>6も含むすべてのバージョン対応)
- ・ 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, ドルビー, Pro Logic, MLP Lossless及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・ 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタル・シアター・システムズ社の商標です。
- ・ Windows, Windows Mediaは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- ・ 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リパースエンジニアリングは禁止されています。
- ・ ディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- ・ DVDロゴは、DVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。



# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みした後、大切に保管してください。

保証期間  
お買い上げの日から1年間

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧くださいのうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

66~71ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したDVD/CDやSDカードなどのメディアも、一緒にご持参ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎ ( ) -

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

# 主な仕様

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

アンプ部	最大出力	フロント	50W+50W(4Ω、1kHz)
		リア	50W+50W(4Ω、1kHz)
	適合インピーダンス		4Ω(4Ω~8Ωで使用可能)
	イコライザー	周波数	60Hz、150Hz、400Hz、1kHz、2.5kHz、6.3kHz、15kHz
		レベル	±10dB
	音声出力 (F-OUT/R-OUT/ CENTER/ SUBWOOFER):	ライン出力レベル/ 適合インピーダンス	2.5V/20kΩ
		出力インピーダンス	1kΩ
	映像信号方式		NTSCカラービジョン方式
	映像出力	VIDEO OUT	1Vp-p/75Ω
	その他の入出力	入力	LINE IN、VIDEO IN
出力		2nd AUDIO OUT	
アンテナ入力		外部FM/AM兼用アンテナコネクター(JASOプラグ仕様)	
その他		CDチェンジャー、AV BUS	

チューナー部	FMチューナー	受信周波数	76.0MHz~90.0MHz
		実用感度	11.3dBf(1μV/75Ω)
	AMチューナー	受信周波数	522kHz~1,629kHz
		実用感度	26dB μ(20μV)

DVD /CD プレーヤー部	再生可能ディスク	18ページ参照		
	映像信号方式	NTSCカラービジョン方式		
	周波数特性	DVD、fs=48kHz	16Hz~22,000Hz	
		DVD、fs=96kHz	16Hz~44,000Hz	
		VCD/CD	16Hz~20,000Hz	
	ダイナミックレンジ	93dB		
SN比	95dB			

モニター部	画面サイズ	6.5型ワイド液晶ディスプレイ
	画素数	280,800画素:400(水平方向)×3×234(垂直方向)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスター)アクティブマトリックス方式
	映像信号方式	NTSCカラービジョン方式/PALカラービジョン方式
	アスペクト比	16:9(ワイド)

電源部・その他	電源電圧	DC14.4V(11V~16Vで使用可能) マイナスアース車専用		
	保管温度	-10°C~+60°C		
	動作温度	0°C~+40°C		
	寸法	取付寸法	約幅178mm×高さ100mm×奥行160mm	
		外形寸法	約幅178mm×高さ100mm×奥行180mm	
	質量	約2.6kg(付属品を含まず)		

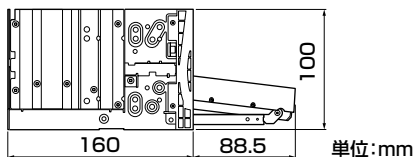
**付属品**

- ・リモコン(RM-RK240) ..... 1
- ・電池(CR2025) ..... 1
- ・接続コード(16ピンコネクター)..... 1
- ・AV I/Oコード ..... 1
- ・リバースギアシグナル延長コード ..... 1
- ・日産車用プレート ..... 1
- ・バインドネジ(M5×8mm) ..... 8
- ・皿ネジ(M5×8mm) ..... 8
- ・コードコネクター ..... 2

**別売りのオプション品**

- ・オーディオコード:  
CN-505E(長さ0.5m)  
CN-510E(長さ1m)  
CN-515E(長さ1.5m)  
CN-520E(長さ2m)
- ・ビデオコード:  
VX-405E(長さ0.5m)  
VX-410E(長さ1m)  
VX-415E(長さ1.5m)  
VX-420E(長さ2m)
- ・インターフェースアダプター:  
KS-PD100(iPod用)  
KS-PD500  
(ビクター製のD.PLAYER用)
- ・変換コード: KS-U57(RCAプラグ)  
KS-U58(ステレオミニプラグ)

**モニターパネルの可動範囲**



設置時に、モニターパネルが運転操作の妨げにならないように、十分なスペースをおとりください。

- ・別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください(品番は変更されることがあります)。

## アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

- 下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

<http://www.jvc-victor.co.jp/reg/car/>

## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービス に関するご相談	お買い物相談や製品についての一般的なご相談 JVC カー AV お客様ご相談センター
別紙の 「JVCカーAV製品サービス窓口案内」をご 覧ください。	 0120-977-846(フリーコール) FAX (027)254-8927 受付時間 10:00~18:00 (土、日、祝日、当社休日を除く) 〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、73ページをご覧ください。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

カー AV ホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

# JVC

## 日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12